

2023年合格目標

中小企業診断士

受講ガイド〔初学者向けコース用〕

- 1次「財務・会計」先どり学習講義
- 1・2次ストレート本科生
- 1・2次速修本科生
- 1.5年本科生（22・23年合格目標）/（23・24年合格目標）
- 1次本科生
- 1次速修本科生
- 1次パック生〔基本編〕/〔直前編〕
- 2次直前パック生
- 1次単科生〔基本+直前編〕/〔基本編〕/〔直前編〕
- 2次ファイナル本科生

TAC

中小企業診断士本試験について

必ずご確認ください

中小企業診断士本試験は毎年1回、例年は第1次試験が8月上旬、第2次試験は筆記が10月下旬、口述が12月中旬～1月下旬に実施されます。以下、令和4年度を参考にしてご案内いたしますが、令和5年度では異なる可能性もありますので予めご承知おきください。なお、**TACでは受験願書の配布・郵送、受験申込の代行は行っておりません。受験申込手続は必ずご自身で行っていただきますようお願い申し上げます。**

◎ 受験願書「試験案内・申込書」の配布（令和4年度参考）

※中小企業診断協会にて配布

第1次試験 令和4年4月28日（木）～5月31日（火）

第2次試験 令和4年8月26日（金）～9月22日（木）

◎ 受験申込受付（令和4年度参考）

※受験申込書を記入のうえ、受験手数料をゆうちょ銀行または郵便局から払い込み手続き（詳細は「試験案内・申込書」を参照）

第1次試験 令和4年4月28日（木）～5月31日（火）

第2次試験 令和4年8月26日（金）～9月22日（木）

◎ 受験料

第1次試験 14,500円（令和4年度参考） 第2次試験 17,800円（令和4年度参考）

◎ 試験日（令和4年度参考）

第1次試験 令和4年8月6日（土）・8月7日（日）

第2次試験 筆記 令和4年10月30日（日）／口述 令和5年1月22日（日）

◎ 受験資格（令和4年度参考）

制限なし

◎ 合格発表（令和4年度参考）

第1次試験 令和4年9月6日（火）

第2次試験 筆記 令和5年1月12日（木）／口述 令和5年2月1日（水）

※合格者には合格証明書等を簡易書留郵便にて通知

※第2次筆記試験は、「口述試験を受験する資格を得た方の発表」

◆中小企業診断士試験に関する詳細は下記までお問い合わせください。

一般社団法人 中小企業診断協会 試験係

〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-11 銀松ビル5階

電話 03-3563-0851(代) ホームページ <https://www.j-smeca.jp/>

はじめに

この度は、TAC中小企業診断士講座をご受講いただきまして誠にありがとうございます。本書は、当講座を受講される方のため教材や各種フォローサービス等に関するご案内をまとめた“講座別受講ガイド”です。別途お渡ししております『TAC利用ガイド』と併せてご覧ください。また、受講終了までご利用いただくものとなりますので、大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

TACは合格のために必要な知識や受験テクニックを効率よく受講生の皆様に提供することにより、最短距離で合格していただくことを第一の目的と考えております。

したがって、本書はこれから中小企業診断士試験合格を目指すにあたり、受講生の皆様にどのように当講座を利用していただくか、その効果的な活用方法を項目ごとに要約しております。

皆様が合格を勝ち取れますよう、TAC中小企業診断士講座の講師・スタッフ一同、精一杯サポートさせていただきます。

TAC中小企業診断士講座

中小企業診断士講座 受講ガイド

CONTENTS

通学メディア・通信メディア共通編

1. 会員証について	P 1
2. 講義・教材について	P 3
3. 演習・答練について	P 6
4. 公開模試について	P 10
5. 質問・相談について	P 11
6. 各種フォロー・サービス対応表	P 12
7. 各種サービス提供期限一覧	P 14
8. 教育訓練給付制度について	P 15
9. 診断士講座オリジナルサービス	P 19

教室講座編

1. 欠席した場合のフォロー	P 27
2. もう一度講義を受講したい場合	P 28
3. 答案の採点および成績発表について	P 29
4. 教材配布予定・Web 講義配信予定	P 31

ビデオブース講座編

1. 答練等の受講、答案の採点および成績発表について	P 35
2. 答練・演習の教室振替について	P 36
3. もう一度講義を受講したい場合	P 36
4. 教材・レジュメのお渡しについて	P 36

通信メディア編

1. 教材発送について	P 39
2. 答案添削の流れ	P 40
3. i-support	P 43
4. スクーリング [本科生限定]	P 44
5. 答案提出目標日	P 45

オリエンテーション編

1. 中小企業診断士試験について	P 49
------------------	------

日程表

1. 日程表について	P 63
------------	------

巻末

1. 各種変更手続き (変更届出書)
2. 新規入会者紹介制度
3. NEXT 割引
4. お問い合わせ先一覧
5. TAC MAP

マイページ登録について

TAC WEB SCHOOL マイページは、すべての受講生の皆様に登録していただく必要があります。
登録をまだ行われていない場合は、
[<http://portal.tac-school.co.jp>]にアクセスし、
→[ログインページへ]→[マイページ登録]と進み、
画面の案内に従って登録を完了させてください。

以下については別冊「TAC利用ガイド」 またはTAC WEB SCHOOLをご覧ください。

通学メディア・通信メディア共通編

1. 講座開始日と受講期間
2. 会員証について
3. マイページ登録について
4. 講義出席状況の確認
5. 施設利用上の注意事項
6. 自習室について
7. 日程変更について
8. 教材を紛失した場合
9. 住所等を変更される場合 ※
10. 在籍証明書・履修証明書について
11. TAC利用上の注意事項
12. 災害時の対応・行動

教室講座・ビデオブース講座編

1. 教室講座受講上の諸注意
2. 欠席した場合の教材受け取り
3. ビデオブース講座受講上の諸注意
4. ビデオブース利用方法
5. ビデオブースの予約

通信メディア編

1. 教材発送について
2. TAC WEB SCHOOL 利用方法
3. TAC WEB SCHOOL に関するFAQ

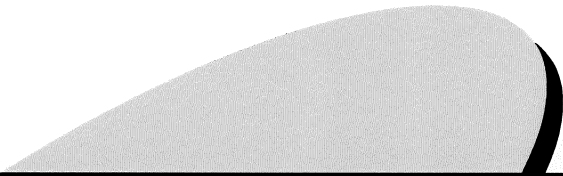
※住所等を変更される際にご提出いただく「変更届出書」は当受講ガイド巻末に収録しています。



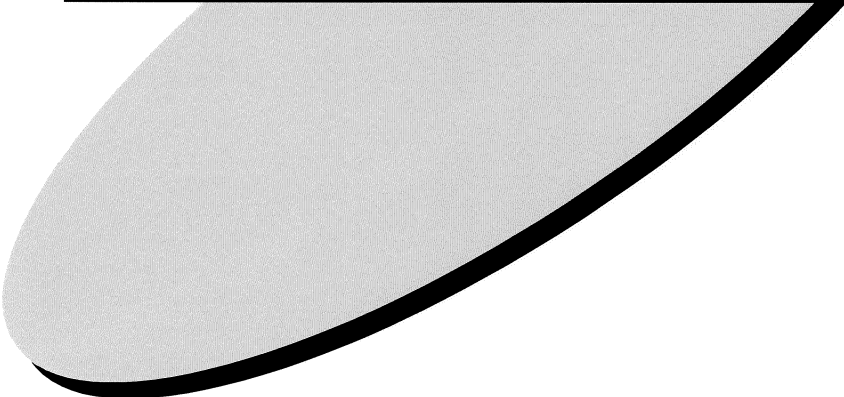
中小企業診断士講座

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT



通学メディア・通信メディア共通編



TAC

1 会員証について

TAC受講生となった方には、「会員証」を発行いたします。

会員証は、皆様がTACの受講生であることを証明する大切なものです。TACご利用の際には、常に携帯していただき、以下の注意事項を遵守してください。

1. 会員証について

- (1) 会員証は本人のみに有効であり、他人へ譲渡または貸与することはできません。
- (2) 会員証を紛失した場合には、受付窓口にて再発行いたします。なお、再発行には、別途手数料がかかります。この場合、再発行日以前の講義は欠席分を含めて、日程表どおりに出席したものととして扱います。また、テキスト等の教材もお渡し済みとして処理いたします。
- (3) 会員証を不正に利用させた場合、並びに不正に利用した場合には、当該コース正規受講料の3倍の料金を申し受けます。
- (4) 会員証に表示されている有効期限を過ぎると講義の受講、教材の受取、フォロー制度や自習室の利用は一切できません。

2. 会員証はこのような場面で使用します

- (1) 教室講義への出席時やビデオブースを利用する時には、会員証を提示してください。教室で講義を受ける時は、会員証は必ず机の上に出しておいてください。講師・スタッフが専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います。（通信メディアの方がスクーリングを利用する際も同様です）。ビデオブースを利用する場合には、視聴前に受付に会員証を提示し教材をお受け取りください。

※もし会員証を忘れてしまったら…

講義を受ける前に、受付にて「仮受講証」の交付を受けてください。

「仮受講証」の交付がない場合には、講義の受講ができません。

- (2) 教材を受け取る際には、会員証を提示してください。テキスト等使用教材につきましては、受付にてお渡しします。
- (3) クラス振替出席フォロー・クラス重複出席フォローをご利用の際は、会員証をお持ちください。専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います。
- (4) 自習室利用の際にも会員証を携帯してください。スタッフが会員証の確認・スキャンを行う場合があります。

また、お申込みのコースによっては自習室をご利用できない場合があります。詳しくは、『TAC利用ガイド（別冊）』の通学メディア・通信メディア共通編「**6** 自習室について」をご確認ください。

3. 会員証の有効期限

- (1) 会員証には、有効期限が表示されています。TACサービスのご利用は、すべて有効期限内に完了してください。また、自習室のご利用も有効期限内となります。
- (2) 会員証の有効期限を過ぎた場合には、教材の受け取りなど「該当する目標年度の各種サービス」のご利用は一切できなくなりますのでご注意ください。
- (3) 会員証の有効期限は、TACサービスの利用期限となります。受講契約の解約・返金時に算定の基礎となる受講期間とは異なりますのでご注意ください。

4. 会員証の書替手続き

お申込みの講座・登録コースによっては、会員証の書替手続き（模擬試験の受験票発行など）が必要となる場合があります。詳しくは専用の案内書をご確認いただくか、受付窓口にてご確認ください。

5. 会員証を紛失した場合

- (1) 受付窓口で再発行いたします。その際、①「身分証明書（運転免許証など）」②「証明写真（3 c m×2.4 c m。紛失した会員証の枚数+1 枚）」③「印鑑」をご用意ください。
- (2) 再発行の際は、再発行手数料〔会員証1枚につき500円（税込）〕がかかります。
- (3) 再発行日以前の講義は欠席分を含めて、登録コースの日程表どおりに出席したものとして扱い、教材はお渡し済みとして処理いたします。
また、各講座の無料再受講制度についてはご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。
- (4) 会員証の再発行には1週間程度の期間を要します。

2 講義・教材について

1. 講義一覧 (2022年6月1日現在)

*変更になる場合がございます

講義名		講義内容	1次「財務・会計」先どり学習講義	1・2次ストレート本科生	1・2次速修本科生	15年本科生(22・23年目標)	15年本科生(23・24年目標)	1次本科生	1次速修本科生	1次パック生(基本編)	1次パック生(直前編)	2次直前パック生	1次単科生(基本+直前編)	1次単科生(基本編)	1次単科生(直前編)	2次ファイナル本科生
1次オプション講義	1次「財務・会計」先どり学習講義	頻出領域に絞ったインプットとアウトプットを並行して実施します。早期受講により1次「財務・会計」と2次「事例IV」のアドバンテージを得られます。	●													
基本編	基本講義	基本編のメイン講義です。各科目の内容・重要ポイントを、基本テキストを中心とした講義で理解してください。		●		●	▲	●		●			△	△		
	1次養成答練	基本講義の復習として科目毎に行う答案練習です。1次試験対策の択一式答練となります。		●	※	●	▲	●	※	●			△	△		
	2次スタートアップ講義	ストレート合格をより確かなものにするための、2次試験対策特別講義です。2次試験で必要となるスキル(読解力・記述力)について、その内容とマスター方法を解説します。		■	■	■										
	2次過去問演習①～④	実際の本試験問題を題材に各事例の出題内容を徹底分析するとともに、どのように解答すればよいのか、解法テクニックも交えながら解説します。		■	■	■										
	2次過去問演習⑤～⑫					■										
	2次実力チェック模試	本試験と同形式で実施する早期の模擬試験です。習得度の把握に役立ちます。				●										
	1次速修講義	基本テキストを使用し、頻出テーマに絞って解説します。頻出論点以外は自己学習となります。			●				●							

講義名		講義内容	1次「財務・会計」先どり学習講義	1・2次ストレート本科生	1・2次速修本科生	15年本科生(22・23年目標)	15年本科生(23・24年目標)	1次本科生	1次速修本科生	1次パックス生(基本編)	1次パックス生(直前編)	2次直前パックス生	1次単科生(基本+直前編)	1次単科生(基本編)	1次単科生(直前編)	2次ファイナル本科生
1次直前編	1次完成答練	出題領域や難易度等、1次本試験を想定した問題を提供します。アウトプットトレーニングでレベルアップを図ります。		●	●	●	▲	●	●		●		△		△	
	1次公開模試	本試験と同形式で、全国一斉に実施する模擬試験です。これまでの学習の成果を試す、総仕上げの答案練習です。		●	●	●	●	●	●		●					
	1次最終講義	1次試験対策の最後の講義です。講師が伝える最新情報が本試験でも役立ちます。		●	●	●	▲	●	●		●		△		△	
2次直前編	2次直前講義	2次本試験を解答するために必要な知識の整理を行います。		●	●	●						●				●
	2次直前演習	2次本試験を想定したレベルの問題演習を通して、合格のための総仕上げを行います。		●	●	●						●				●
	2次最終演習	2次本試験を想定したレベルの問題演習を通して、合格のための総仕上げを行います。														●
	2次公開模試	1次公開模試と同様、全国一斉に実施する模擬試験です。		●	●	●						●				●
	2次事例Ⅳ特訓	事例Ⅳの典型的な問題を繰り返し解き、基本的な計算処理手順の定着と計算力の維持を図ります。														●

各コースで実施する講義に●印がついています。

※は自習用として配付しますが解説講義は視聴できません。ただし、マークシートをご提出いただければ採点いたします。

▲は「経営情報システム」「経営法務」「中小企業経営・政策」の3科目のみとなります。

△はお申込みの科目のみとなります。

■はTAC WEB SCHOOL での受講となります。ただし、DVD 通信講座の方にはDVD を送付します。

2. コース別配布教材一覧 (2022年6月1日現在)

*変更になる場合がございます

講義名	教材名	1次「財務・会計」先どり学習講義	1・2次スタート本科生	1・2次速修本科生	15年本科生(22・23年目標)	15年本科生(23・24年目標)	1次本科生	1次速修本科生	1次パック生「基本編」	1次パック生「直前編」	2次直前パック生	1次単科生「基本+直前編」	1次単科生「基本編」	1次単科生「直前編」	2次ファイナル本科生
受講ガイド (1冊)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1次OP講義	1次「財務・会計」先どり学習講義	●													
基本編・速修編	基本講義/速修講義	基本テキスト (7冊)	●	●	●	▲	●	●	●			△	△		
		講義サポートレジュメ (7冊)	●	●	●	▲	●	●	●			△	△		
		トレーニング (7冊)	●	●	●	▲	●	●	●			△	△		
	1次養成答練	1次養成答練 (7回)	●	※	●	▲	●	※	●			△	△		
	2次スタートアップ講義	2次スタートアップテキスト (1冊)	■	■	■										
	2次過去問演習①～④	2次過去問演習 (4回)	■	■	■										
	2次過去問演習⑤～⑫	2次過去問演習 (8回)			■										
	2次実力チェック模試	2次実力チェック模試 (問題+解答)			●										
	その他 (自習用)	1次過去問題集 (7冊)		○	○	○	◇	○	○	○		□	□		
		2次再現答案分析レジュメ		○	○	○									○
		2次過去問題集 (1冊)		○	○	○									
1次直前編	1次完成答練	1次完成答練 (14回)	●	●	●	▲	●	●		●		△		△	
	1次公開模試	1次公開模試 (問題+解答)	●	●	●	●	●	●		●					
	1次最終講義	1次最終講義レジュメ (7冊)	●	●	●	▲	●	●		●		△		△	
2次直前編	2次直前講義	2次直前テキスト	●	●	●						●				●
	2次直前演習	2次直前演習 (8回)	●	●	●						●				●
	2次最終演習	2次最終演習 (4回)													◆
	2次公開模試	2次公開模試 (問題+解答)	●	●	●						●				●
	2次事例IV特訓	2次事例IV特訓 (8回)													◆
		2次事例IVの解き方 (1冊)													◆

各コースで配布する教材に●印がついています。

① テキスト・トレーニング・レジュメは受付にて、答練・演習は教室 (ビデオブース講座は受付) にて配布します。

② 教材の保管期間は2023年10月31日までとなります。教材の請求は期間内をお願いします。

※は自習用として配布致します。なお、マークシートをご提出いただければ採点いたします。

▲は「経営情報システム」「経営法務」「中小企業経営・政策」の3科目のみとなります。

△□はお申込みの科目分のみとなります。

○◇□は自習用教材として配布します。◇は「経営情報システム」「経営法務」「中小企業経営・政策」の3科目のみとなります。

■通学生の方は教材を受付にてお渡しします。通信生の方は、送付されます。

◆通学生・通信生を問わず、ご自宅に教材をお送りします。

各教材の正誤表は、TAC WEB SCHOOL の「正誤情報」に随時掲載いたしますので、ご確認ください。

詳細はp.20「3. TAC WEB SCHOOL の掲載情報について」をご参照ください。

3 演習・答練について

1 次答練や 2 次演習の実施方法は、種類によって異なります。採点方法と答案返却方法も合わせてご確認ください。

◆実施答練・演習一覧（2022年6月1日現在）

*変更になる場合がございます

答練・演習名	科目内容	解答時間	返却方法		
			教室	ビデオブース	通信
1 次養成答練 (速修本科生は 自習用として 配布・採点あり)	経営・財務・運営・経済・ 情報・法務・中小	60 分	コンピューターによる採点を行います。 TAC 到着後、原則として約 2～3 週間後に、成績表を TAC WEB SCHOOL のマイページに掲載します (マークシートは返却いたしません)。		
★2次過去問演習	事例Ⅰ・事例Ⅱ・事例Ⅲ・ 事例Ⅳ	80 分	講師による添削を行います。 答案は TAC 到着後、原則として約 2～3 週間後に添削済答案を TAC WEB SCHOOL のマイページに掲載します (成績表の掲載、答案の返却はいたしません)。		
1 次完成答練	経営・財務・運営・経済・ 情報・法務・中小	60 分	コンピューターによる採点を行います。 TAC 到着後、原則として約 2～3 週間後に、成績表を TAC WEB SCHOOL のマイページに掲載します (マークシートは返却いたしません)。		
2 次直前演習 2 次最終演習	事例Ⅰ・事例Ⅱ・事例Ⅲ・ 事例Ⅳ	80 分	講師による添削を行います。 答案は TAC 到着後、原則として約 2～3 週間後に添削済答案を、その後約 1～2 週間後に成績表を TAC WEB SCHOOL のマイページに掲載します (答案の返却はいたしません)。		
2 次事例Ⅳ 特訓	事例Ⅳ	60 分	自己採点となります。		

★は 1・2 次ストレート本科生、1・2 次速修本科生、1.5 年本科生（22・23 年目標）のみ
※答案提出目標日・成績表アップ予定日は p.45、46 をご参照ください。

科目の略称

経営：企業経営理論／ 財務：財務・会計／ 運営：運営管理／ 経済：経済学・経済政策
情報：経営情報システム／ 法務：経営法務／ 中小：中小企業経営・政策

1 次答練や 2 次演習の解答は、必ず B または HB の黒の鉛筆またはシャープペンシルをご使用ください。
※答案については必ず原本をご提出ください (コピー不可)。

1. 1次養成答練 各科目1回実施

〔速修本科生は自習用として配布（解説講義なし／採点あり）〕

基本講義／速修講義が終了するたびに、それまでの学習範囲について復習をかねて実施します。「基本事項を主体としてテキストの記述内容が理解できているか」を客観的に測るのが養成答練の役割ですので、積極的に受講するようにしてください。

〔実施時間〕：

解答制限時間は60分です。教室講座受講の場合は、通常の2時間半（150分）の講義時間内に問題を解き、終了後「解答」をお配りいたします。休憩をはさみ、養成答練の解説講義を行います。ビデオブース講座・通信メディア受講の場合は、問題を解いてから、解説講義を受講してください。

〔解答形式〕：

マークシート方式で実施します。

〔答案について〕：

コンピューターによる採点を行います。TAC到着後、原則として約2～3週間後に、成績表をTAC WEB SCHOOLのマイページに掲載します（マークシートは返却いたしません）。

2. 2次過去問演習〔Web受講〕

※1・2次ストレート本科生、1・2次速修本科生、1.5年本科生（22・23年目標）のみ

実際の2次本試験過去問題を解いた後に、各事例の出題内容分析、解法テクニックの解説を視聴し、答案作成のプロセスを体得します。

〔実施時間〕：

解答制限時間は80分です。問題を解いてから、解説講義を視聴してください。

〔解答形式〕：

記述方式で実施します。

〔答案について〕：

講師による添削を行います。

答案はTAC到着後、原則として約2～3週間後に添削済答案を、TAC WEB SCHOOLのマイページに掲載します（成績表の掲載および答案の返却はいたしません）。

3. 1次完成答練 各科目2回実施

今まで学習した内容について理解度を確認し、実戦力をつける演習教材が「完成答練」です。

基本事項の総仕上げと法改正の確認を主な目的としています。完成答練にて間違ってしまった問題や解けなかった問題は確実に見直しをしてください。その際は正解できなかった理由をできる限り明確にしておくようにしましょう。

〔実施時間〕：

解答制限時間は60分です。教室講座受講の場合は、通常の2時間半（150分）の講義時間内に問題を解き、終了後「解答」をお配りいたします。休憩をはさみ、完成答練の解説講義を行います。ビデオブース講座・通信メディア受講の場合は、問題を解いてから、解説講義を受講してください。

〔解答形式〕：

マークシート方式で実施します。

〔答案について〕：

コンピューターによる採点を行います。TAC 到着後、原則として約 2～3 週間後に、成績表を TAC WEB SCHOOL のマイページに掲載します（マークシートは返却いたしません）。

4. 2 次直前演習 全 8 回（各事例 2 回）実施

2 次本試験を想定したレベルの問題演習を実施します。問題演習を通して、2 次対策の総仕上げを行っていきます。

〔実施時間〕：

解答制限時間は 80 分です。教室講座受講の場合は、通常の 2 時間半（150 分）の講義時間内に問題を解き、終了後「解答」をお配りいたします。休憩をはさみ、直前演習の解説講義を行います。ビデオブース講座・通信メディア受講の場合は、問題を解いてから、解説講義を受講してください。

〔解答形式〕：

記述方式で実施します。

〔答案について〕：

講師による添削を行います。

答案は TAC 到着後、原則として約 2～3 週間後に添削済答案を、その後約 1～2 週間後に成績表を TAC WEB SCHOOL のマイページに掲載します（答案の返却はいたしません）。

5. 2 次最終演習 全 4 回（各事例 1 回）実施

※教室講座の実施はありません。

2 次本試験を想定したレベルの問題演習を実施します。問題演習を通して、2 次対策の総仕上げを行っていきます。

〔実施時間〕：

解答制限時間は 80 分です。問題を解いてから、解説講義を受講してください。

〔解答形式〕：

記述方式で実施します。

〔答案について〕：

講師による添削を行います。

答案は TAC 到着後、原則として約 2～3 週間後に添削済答案を、その後約 1～2 週間後に成績表を TAC WEB SCHOOL のマイページに掲載します（答案の返却はいたしません）。

6. 2 次事例Ⅳ特訓 全8回

押さえておかねばならない典型的な問題を繰り返し解くことで、基本的な計算処理手順の定着と計算力の維持を図ります。

〔実施時間〕：

各回、講義（30分）→ 演習（60分）→ 解答解説の順で実施します。

〔解答形式〕：

記述方式で実施します。

〔答案について〕：

演習は自己採点のため、成績集計はございません。

4 公開模試について

2023 年合格目標の各公開模試は、本試験と同形式で、全国一斉に実施します。

2 次実力チェック模試…2023 年 4 月 29 日(土) or 30 日(日)予定

1 次公開模試…2023 年 7 月 1 日(土)・2 日(日)予定

2 次公開模試…2023 年 9 月 2 日(土) or 3 日(日)予定

各模試とも、会場受験・自宅受験のいずれかを選択することができます。また、会場の選択も可能です。

お申込みのコースによって、公開模試の受験手続が異なります。

お申込みコースに 2 次実力チェック模試・1 次公開模試・2 次公開模試が含まれている場合には、無料で受験が可能です。が、受験番号発行、受験地登録のための受験手続が必要になります。この受験手続を行わないと模試を受験することができませんので、必ず期間内に手続を行ってください。

公開模試が含まれていないコースの場合には、別途、新規申込による受験手続が必要となり、この場合は受験料が発生します。

各コースに公開模試が含まれているかどうかは、下記をご参照ください。

※受験手続方法・手続期間・受験会場等の詳細につきましては、2 次実力チェック模試は 2023 年 3 月上旬、1 次公開模試は 5 月中旬、2 次公開模試は 7 月中旬に別途ご案内予定です。

コース別 2023 年合格目標公開模試一覧

	2 次実力チェック模試	1 次公開模試	2 次公開模試
1・2 次ストレート本科生	—	○	○
1・2 次速修本科生	—	○	○
1.5 年本科生 (22・23 年目標)	○	○	○
1.5 年本科生 (23・24 年目標)	—	○	—
1 次本科生	—	○	—
1 次速修本科生	—	○	—
1 次パック生 [基本編]	—	—	—
1 次パック生 [直前編]	—	○	—
2 次直前パック生	—	—	○
1 次単科生 [基本+直前編]	—	—	—
1 次単科生 [基本編]	—	—	—
1 次単科生 [直前編]	—	—	—
2 次ファイナル本科生	—	—	○

※○印のあるコースは、受験手続（無料）により受験が可能。

5 質問・相談について

学習上の疑問点や学習の進め方などの相談事項は、わからないままにせず、解決しておきましょう。

学習メディア・受講コースによって質問体制は以下のようにご用意しております。

1. 教室講義前後（教室講座のみ）

講義前後に質問・相談を受け付けますので、講師に直接お声掛けください。

2. 質問メール

i-support 内に付属している質問メールにてご質問していただくことができます。同じく i-support 内の「よくある質問」も参考にしてください。

※質問 1 回につき、質問事項は 1 項目にてお願いします。

※質問をいただいてから約 1 週間で回答します（年末・年始、GW 等一部の期間を除く）。

※質問メールの利用方法は通信メディア編「**3** i-support」（p.43）をご参照ください。

※質問メールの最終締切日は、「**7** 各種サービス提供期限一覧」（p.14）をご覧ください。

※受講コースによって質問可能回数が異なります。「**9** 2. 質問メールの利用回数について」（p.19）をご覧ください。

本試験までに質問回答できるのは、1 次は 2023/7/28、2 次は 2023/10/6 TAC 必着分とさせていただきます。なお、10/23 以降に届いたメールの回答文は、マイページにて確認できない場合がありますので、ご了承ください。

3. 質問内容について

ご回答できるのは、ご受講いただいている該当年度のコースに含まれている教材についての質問です。

受講講座以外の教材（市販書籍、過去の教材、他の資格専門学校で使用される教材、他社で発行されている問題集やテキスト）についての質問や、当該試験の学習範囲を逸脱している質問、他資格に関する質問にはお答えできません。

パック生・単科生につきましては、受講パック・単科に含まれている科目のみ質問を受付いたします。

受付できない質問内容の場合は、回答をしないで返却させていただきます。予めご了承ください。

★質問内容は具体的かつ簡潔に記入してください。ご利用の際は、以下の内容にご注意ください。

- （1）皆様から寄せられる質問メールには、辞書やテキスト等で調べれば分かるものもあります。「わからない」と思ったら、まずできるだけ自分で調べてみましょう。時間はかかるかもしれませんが、そうやって身につけた知識は決して忘れないものです。
- （2）質問メールは上手に使って実力アップを図るために、どのテキストの何ページに書いている事柄の、何がわからないのかをできるだけ詳しく書いてください。質問が具体的であればあるほど、講師も確実に回答することができます。

6 各種フォロー・サービス対応表

各種フォロー・サービスの利用は、お申し込みのコース、受講形態に応じて下表の通りとなります。

	本 科 生			パックス生・単科生・オプション講座		
	教室講座	ビデオブース講座	通信メディア	教室講座	ビデオブース講座	通信メディア
クラス振替出席フォロー	●	—	—	●	—	—
ビデオブース振替フォロー	◎ (500 円/回)	—	—	◎ (500 円/回)	—	—
校舎間自由視聴制度	—	●	—	—	●	—
クラス重複出席フォロー	●	—	—	—	—	—
ビデオブース重複フォロー	◎ (500 円/回)	◎ (500 円/回)	—	—	—	—
Web フォロー	●	●	●	●	●	●
音声 DL フォロー	●	●	●	●	●	●
トレーニングアプリ	●※1	●※1	●※1	—	—	—
追っかけフォロー	●	—	—	●	—	—
教室出席フォロー	—	●	—	—	●	—
スクーリング	—	—	●	—	—	—
i-support	●	●	●	●	●	●
質問メール	●	●	●	●	●	●
自習室	●	●	●	●※2	●※2	●※2

「●」：標準装備 「◎」：有料サービス 「—」：該当なし

※1 2次ファイナル本科生は対象外です。

※2 単科生・オプション講座は対象外です。

クラス振替出席フォロー	ご都合により出席できない場合、教室講座の他のクラスに出席できる制度です（手続不要）。 ※テスト類の採点・添削も受けられます。ただし、答案の返却は出席された校舎・クラスでの返却となります。
ビデオブース振替フォロー	ご都合により出席できない場合、ビデオブース視聴にて受講できる制度です [要予約・1 講義 500 円（税込）]。 ※テスト類の採点・添削は含まれません。
校舎間自由視聴制度	申込登録校舎以外でビデオブース視聴ができる制度です。なお、講座を開講している校舎に限ります。
クラス重複出席フォロー	もう一度受講したい場合、教室講座の他のクラスに出席できる制度です（手続不要）。なお、講座の指定した講義に限ります。
ビデオブース重複フォロー	もう一度受講したい場合、ビデオブース視聴にて受講できる制度です [要予約・1 講義 500 円（税込）]。なお、講座の指定した講義に限ります。
Web フォロー	教室講義を収録した動画を Web にて視聴できます。 ※テスト類の採点・添削は含まれません。
音声DLフォロー	教室講義を収録した音声をパソコンにダウンロードできます。 ※テスト類の採点・添削は含まれません。
トレーニングアプリ	アプリをダウンロードいただき、1 次対策問題集『トレーニング』をスマホやタブレットで解答できます。
追っかけフォロー	開講日後に申し込みの場合、ビデオブース視聴にて教室講座の日程に追いつける制度です（要予約・手数料不要）。
教室出席フォロー	特定の講義に関して、教室講座に出席できる制度です（手続不要）。
スクーリング 注 1	TAC 各校舎で開講されている教室講座に無料で出席できる制度です。
i-support	インターネットを用いたフォロー制度の総称で、「質問メール」「よくある質問」「正誤情報」「i-コミュニティ」「講師からのメッセージ」の 5 つのメニューから構成されています。
質問メール 注 2	学習上の疑問点を WEB SCHOOL でメールいただき、講師が回答します。
自習室	TAC 各校舎で教室を自習室として開放しています。 ※詳細は『TAC 利用ガイド（別冊）』をご参照ください。

注 1 通信メディア編 **4** スクーリング [本科生限定] (p.44) 参照

注 2 通学メディア・通信メディア共通編 **9** 診断士講座オリジナルサービス (p.19) 参照

7 各種サービス提供期限一覧

中小企業診断士講座

各種サービス提供期限一覧 [2023 年合格目標]

各種サービスの提供は特にご案内のない場合、会員証有効期限までとなっています。

会員証有効期限 2023/10/31 (会員証記載)

サービス内容	期 限	詳 細
1 次トレーニングアプリ	2023/8/31	期限後はご利用できなくなります。
通学メディアの教材受け渡し請求期限	2023/10/31	受け渡し請求期限付近は、在庫状況により請求当日のお渡しが難しい場合がございます。予めご了承ください。
ビデオブース（フォロー）視聴期限	2023/10/31	ビデオブースのご予約は、 <u>2023/10/30</u> までにお手続きください。
通信メディアの教材問い合わせ期限	2023/10/31	期限後の教材等の送付漏れ、乱丁・落丁等のお問い合わせはお受けいたしかねます。
講義動画・講義音声DL フォロー利用期限	2023/10/31	期限後は講義などの視聴ができなくなります。
i-support 利用期限	2023/10/31	期限後はご利用できなくなります（質問メールは下記参照）。
質問メール	1 次 2023/7/28 2 次 2023/10/6 <u>TAC 必着</u>	本試験までに質問回答できるのは、1 次は <u>2023/7/28</u> 、2 次は <u>2023/10/6</u> TAC 必着分とさせていただきます。なお、 <u>10/23</u> 以降に届いたメールの回答文は、マイページにて確認できない場合がありますので、ご了承ください。
答案提出期限	1 次 2023/7/21 2 次 2023/9/29 <u>TAC 郵送必着</u>	本試験までにマイページに掲載（個人成績表、2 次：添削済答案）できるのは、1 次は <u>2023/7/21</u> 、2 次は <u>2023/9/29</u> TAC 必着分とさせていただきます。なお、 <u>10/16</u> 以降に TAC に届いた答案の添削結果及び成績表は、マイページにて閲覧できない場合がございますので、ご了承ください。
成績表の閲覧期限	2023/10/31	個人成績表は、 <u>2023/10/31</u> までマイページでご覧いただけます。

注 1：公開模試（自宅受験）の答案提出期限などは専用案内パンフレットなどでご確認ください。

注 2：通信メディア受講で教育訓練給付制度をご利用の場合、答案は修了日まで受け付けいたします。

各自の修了日までに全提出課題の 8 割以上をご提出ください。

詳細は、「**8** 教育訓練給付制度について」（p.15）を参照してください。

8 教育訓練給付制度について

以下、教育訓練給付制度に関する説明は、全て「一般教育訓練」についての内容です。現在 TAC で開講している講座は、「専門実践教育訓練」「特定一般教育訓練」ではありませんのでご注意ください。

一般教育訓練給付制度

受講開始日において支給要件のある方が、厚生労働大臣の指定する講座を受講し修了した場合、支払った入会金・受講料の 20%（上限 10 万円）がハローワークから支給されます。

[2022 年 4 月 1 日現在]

1. 一般教育訓練対象コース

- 1・2 次ストレート本科生【通学】教室・ビデオブース：10～12 月開講
- 1・2 次ストレート本科生【通信】DVD・Web：10 月受講開始（受講期間：12 ヶ月）
- 1 次本科生【通学】教室・ビデオブース：10 月開講
- 1 次本科生【通信】DVD・Web：10 月受講開始（受講期間：10 ヶ月）

制度の内容については「TAC 教育訓練給付制度パンフレット」でも必ずご確認ください。

2. 講座申込時

講座のお申込みから 1 ヶ月以内に、「TAC/W セミナー教育訓練給付制度 申請申込書」に必要事項をご記入の上、TAC へご提出ください。講座のお申込みだけですと、教育訓練給付制度申込の登録は完了していません。必ずご提出ください。併せてご本人確認のため、本人および住居の確認ができるものをご提示ください（郵送の場合には、本人および住居の確認ができるもののコピーを添付してください）。

★支給要件の照会

ご自身に教育訓練給付金の支給要件があるかどうかをハローワークで照会することができます。照会に必要な「教育訓練給付金支給要件照会票」は TAC 各校舎にもございます。

ご自身の支給要件について不安がある方は、予め確認してから教育訓練給付制度申込をしていただくことをお勧めします。TAC では支給要件を満たしているかどうかの判断はできません。ご了承ください。

3. 受講にあたって

◆通学の場合

修了認定するための基準（修了要件）

TAC/W セミナーでは、修了日までに出席率 80%以上並びに修了試験において正答率 60%以上を通学生の修了要件として規定しております。

出席確認

講義・答練に出席の際は、毎回TAC会員証を忘れずに持参し、専用スキャナーによる読取を受けてください。

ビデオブースは予約履歴で出席回数を確認いたします。予約をキャンセルした講義は出席率に加算しません。

出席状況は「TAC WEB SCHOOL」⇒「マイページ」⇒「学習記録」⇒「出席状況」にてご確認ください。

修了日までに出席率 80%以上となるよう、ご自身で出席状況の確認を行ってください。受講した講義欄に「済」が表示されていない場合は、速やかに受講したTAC受付窓口にお申し出ください。

登録のクラスを欠席したら

通学形態のフォロー制度（教室振替制度・ビデオブースフォロー）を利用して受講した場合は出席率に加算されます。

Web フォローなどの通信形態での受講は出席として扱われません。ご注意ください。

受講修了日について

通学生の受講修了日は、指定講座全体の講義最終日以降に TAC が修了要件を確認する日です。講義最終日より約1週間後となります。各指定講座の修了日は、修了試験問題送付時にご案内いたします。

※会員証に記載のある「有効期限」とは異なりますのでご注意ください。

◆通信の場合

修了認定するための基準（修了要件）

TAC/W セミナーでは、修了日までに添削答案提出率 80%以上並びに修了試験において正答率 60%以上を通信生の修了要件として規定しております。

提出率対象となる添削答案の名称および回数

1 次

「企業経営理論」「財務・会計」「運営管理」「経済学・経済政策」「経営情報システム」「経営法務」「中小企業経営・政策」

上記 7 科目の養成答練各 1 回、完成答練各 2 回：計 21 回

2 次

直前演習 8 回：計 8 回

●1・2 次ストレート本科生：合計 29 回（24 回以上のご提出で 80%以上の提出率となります）

●1 次本科生：合計 21 回（17 回以上のご提出で 80%以上の提出率となります）

※各自の修了日までに添削答案の提出をお願いいたします。

答案の提出

答案をご提出の際は、マークシート・答案用紙の指定欄に、会員番号・氏名等の必要事項を必ずご記入の上、専用の封筒でご郵送ください。

スクーリングに出席された場合、提出率の対象となる添削答案については教室で提出せず、通常通り郵送にてご提出ください。なお、白紙答案や著しく解答の記入が少ない答案は提出と認められませんのでご注意ください。

受講期間と受講修了日について

受講されるコースの教材初回発送日から受講期間（p.15 に記載）を経過した期日が修了日となります。

各自の修了日は給付制度申請申込登録完了後、教材とは別に TAC よりご案内をお送りします。答案は修了日まで受け付けいたします。

※会員証に記載のある「有効期限」とは異なりますのでご注意ください。修了日以前に修了要件を満たされても、修了証明書等の発送は各自の修了日以降となります。

※Web・音声 DL の配信は、本試験日や会員証の有効期限等、各講座が定める期日までとなります。修了日までご利用いただけない場合がございます。予めご了承ください。

4. 教育訓練給付制度修了試験について

実施時期は通信通学共に 2023 年 7 月中旬を予定しております。

修了試験の実施方法については、2023 年 4 月頃に TAC WEBSCHOOL でご案内いたします。

※資格試験（本試験）の受験および可否は教育訓練給付制度の支給要件とは関係ありません。

5. 講座修了時

所定の期間内に要件を満たして修了された方には、修了日の翌日に TAC より「教育訓練給付金支給申請書」「教育訓練修了証明書」「領収書」もしくは「クレジット契約証明書」の 3 点を郵送いたします。修了日から 1 週間以内に書類が届かない場合は至急 TAC までご連絡ください。

教育訓練給付制度の関係書類は全て郵送いたします。

住所や書類送付先の変更は、所定の変更届出書にて速やかにお手続きください。

6. 支給申請手続

教育訓練の要件を満たして修了された方が給付金の支給を受けるには、ハローワークでの支給申請手続が必要です。支給申請手続は原則、修了日の翌日から起算して 1 ヶ月以内です。

※支給申請期限内に手続きできなかった場合は、ハローワークの雇用保険窓口にお問い合わせください。2 年間の時効の期間内であれば支給申請手続きが可能です。

7. 教育訓練給付制度に関する詳細

■TACのホームページにある一般教育訓練給付制度のご案内

<https://www.tac-school.co.jp/kyufu/>



■ハローワークインターネットサービス「教育訓練給付」について

https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html



■TAC 教育訓練給付制度パンフレット

- ・TAC 各校舎にございます。
- ・TAC カスタマーセンターでもご請求いただけます。

「TAC 教育訓練給付制度」パンフレット請求

TAC カスタマーセンター

0120-509-117

平日・土日祝 10:00～17:00

9 診断士講座オリジナルサービス

1. 日程表について

各コースの「教室講義日程」「利用開始日」「教材送付日程」については、以下のホームページにアップいたしますのでご確認ください。

■TACホームページ「講義日程のご案内」

https://www.tac-school.co.jp/kouza_chusho/chusho_nittei_odd.html



2. 質問メールの利用回数について

質問メールの利用回数には、下記の通り回数制限がございます。受講期間中に下記の制限回数を越えて利用された場合には、質問に回答出来ない場合がございますので、予めご了承ください。

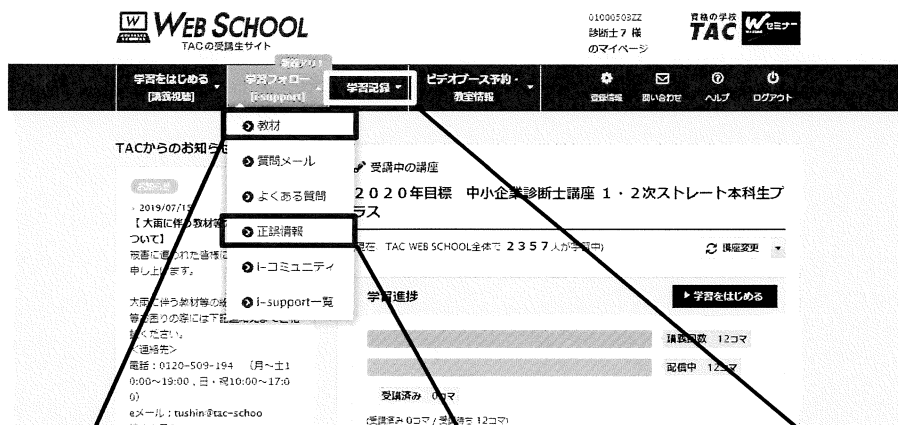
□受講期間中に可能な質問メール利用回数

1 次入門講義	…3 回
1 次「財務・会計」先どり学習講義	…3 回
1・2 次ストレート本科生	…40 回
1・2 次速修本科生	…15 回
1.5 年本科生 (22・23 年目標総計)	…50 回
1.5 年本科生 (23・24 年目標総計)	…50 回
1 次本科生	…25 回
1 次速修本科生	…10 回
1 次パック生 [基本編]	…20 回
1 次パック生 [直前編]	…10 回
2 次直前パック生	… 5 回
1 次単科生 [基本+直前編]	… 5 回/各科目
1 次単科生 [基本編]	… 3 回/各科目
1 次単科生 [直前編]	… 3 回/各科目
2 次ファイナル本科生	…10 回

3. TAC WEB SCHOOL の掲載情報について

TAC WEB SCHOOL に、学習にお役立ていただくためのさまざまな情報を随時掲載していますので、ご確認ください。

【サイト上部】



◆教材

2 次演習の復習用問題・解答用紙（PDF データ）を掲載します（各演習の WEB 配信日に合わせて掲載します）。

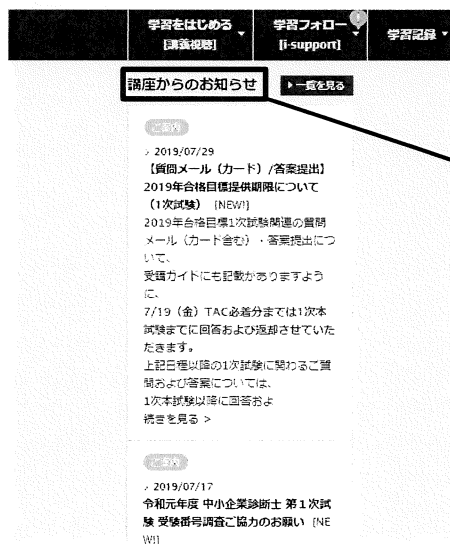
◆正誤情報

教材の正誤表を随時掲載します。

◆学習記録 ⇒ 成績表

1 次答練・2 次演習・2 次公開模試・2 次実力チェック模試の個人成績表等を掲載します。

【サイト下部】



◆講座からのお知らせ

下記の情報を随時掲載します。

- 1 次答練・2 次演習の得点データ
（平均点、得点分布表、設問別正答率など）
- 2 次演習の講評
- 2 次演習の参考答案
- 公開模試の受験手続き案内
- 事務局からの各種ご案内
- 中小企業診断士本試験情報

4. トレーニングアプリ（2023 年合格目標版）について

1 次対策教材「トレーニング」のアプリです。解答後すぐに正解と解説が表示される「1 問 1 答形式」なので、冊子版のように「問題編」と「解答・解説編」を行き来することなくスムーズに学習が行えます。

当トレーニングアプリは以下の本科生コースをご受講の方のみ標準装備されています。

【対象コース】

1・2 次ストレート本科生	1・2 次速修本科生	1 次本科生	1 次速修本科生
1.5 年本科生（22・23 年合格目標）	1.5 年本科生（23・24 年合格目標）		

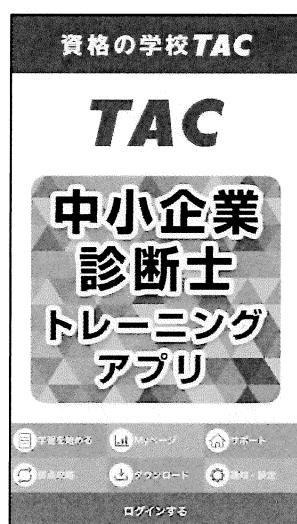
※バック生・単科生はご利用できません。

※Android™ Android OS 11.0 以降。iPhone®/iPad® iOS 14.0 以降。iPhone、iPad、および iPod、および iPod touch に対応

※機種・端末状況によっては使えない場合もございます。

※2022 年合格目標以前のトレーニングアプリをダウンロードされたことがある方は、端末から一度削除いただき、改めてアプリをダウンロードしてください。

※トレーニングアプリは、お申込後 1 週間～10 日後よりご利用いただけます。ただし、トレーニングアプリ配信予定時期より以前にお申込みされた方は、2022 年 10 月初旬の配信開始までお待ちください。



トレーニングアプリ配信予定時期（予定）

- | |
|--------------------------|
| ① 企業経営理論：2022 年 10 月初旬 |
| ② 財務・会計：2022 年 11 月中旬 |
| ③ 運営管理：2023 年 1 月中旬 |
| ④ 経済学・経済政策：2023 年 1 月下旬 |
| ⑤ 経営情報システム：2023 年 2 月下旬 |
| ⑥ 経営法務：2023 年 3 月中旬 |
| ⑦ 中小企業経営・政策：2023 年 3 月下旬 |

「中小企業診断士トレーニングアプリ」ご利用案内

最初に、スマートフォンまたはタブレットをWi-Fi等のインターネット環境に接続してください。

1. アプリをダウンロードする

- ① AppStore または GooglePlay で「TAC 診断士 トレーニング」と検索してください。
- ② iPad などのタブレットでダウンロードされる場合で検索表示されないときは、画面左上の「iPad のみ」を選択して、「iPhone のみ」にしてください。
※対象外の方は、アプリをダウンロードされましてもログインできません。

2. ログインする

- ① TOP 画面一番下の「ログインする」を選択し、次画面の ID 欄とパスワード欄の両方に、TAC 会員証に記載された TAC 会員番号 10 桁を入力してログインしてください。
※ ID 欄とパスワード欄の両方に TAC 会員番号 10 桁を入力してください。
- ② ログイン後、TOP 画面の「通知・設定」から「アカウント設定」を選択し、任意のニックネームを登録してください。ニックネームがランキングの表示名になります。なお、氏名は登録しないでください。
※ ID とパスワードは更新・変更しないでください。
※照会 ID は、個々の端末を認証するシステム上の番号のため変更できません。

3. 問題をダウンロードする

TOP 画面の「ダウンロード」を選択し、問題をダウンロードしてください。

4. 問題の実施手順

I 学習開始前

- ① TOP 画面の「学習を始める」を選択してください。
- ② ダウンロードした問題タイトルから、学習したい科目名を選択してください。
- ③ 表示されたサブタイトルを選択すると、問題が表示されます。

II 学習開始

- ① 表示された問題の正解と思う番号部分（一問一答は○か×）をタップしてください。
- ② 画面下部のクリップマークをタップすると、現在の問題にクリップを付けることができ、クリップした問題だけをあとで抽出して実施することができます。気になった問題や迷った問題などに、適宜クリップを付けてください。
- ③ 解説を読んでいて問題を見なくなった時は、解説の末尾にある「問題を見る」を選択すると、問題が同一画面に表示されます。このとき、正解の選択肢番号が「青」、自分が選択した選択肢番号が「黄」で表示され、判別できるようになっています。

- ④ 解説を理解したら、画面下部の「>次へ」を選択し、次の問題に進んでください。

※途中で中断した時は、タイトル選択画面の「続きから」を選択すると、前回の続きから学習できます。

III 弱点攻略

- ① TOP 画面の「弱点攻略」を選択します。
- ② 間違えた問題が抽出されていますので、解答してください。

IV その他の学習機能

- ① 科目選択画面の「未解答」
⇒ やり残している問題を抽出します。
- ② 科目選択画面の「ランダム」
⇒ 出題順がランダムになります。選択肢順はそのままです。

5. My ページ

TOP 画面の「My ページ」では、学習状況や成績、ランキングを確認することができます。

- ① 「レポート」⇒ ランキングと学習状況を確認できます。実施時間と正解率等を数値化した「pt」でランキングされ、ページ右下の「ランキング」から詳細を見ることができます。

「累計日数」⇒ 利用者の ID 登録をした日からの日数です。

「コース期日まで」⇒ 使用期限の残日数で、この期日に達するとアプリが使用できなくなります。

「時間」⇒ その時点での総実施時間で、時間 (h) で表示されます。

「平均 (日ごと)」⇒ その時点での 1 日当たりの平均実施時間で、分 (m) で表示されます。

「ポイント (pt)」⇒ その時点でのポイント (pt) です。

- ② 「成績」⇒ 全体と科目ごとの進捗率と正解率が表示されます。
- ③ 「ランキング」⇒ 実施者全体の「pt」でのランキングが表示されます。

6. サポート

TOP 画面の「サポート」を選択すると、本アプリの使用法に関するサポート先が表示されます。

○アプリの操作方法に関するご質問 ⇒ ブルーゲート社にメールでご質問ください。

○問題の内容に関するご質問 ⇒ TAC Web School / i-support の質問メールにご質問ください。

※質問メールのカテゴリは「その他の項目」を選択してください。

※アプリの利用に関するお問い合わせは質問回数のカウント対象外です。

7. TACからのご連絡

新たに問題をダウンロードできるようになった場合など、TAC からの通知は、アプリの立ち上げ時に TOP 画面に表示されるほか、「通知・設定」に履歴が残りますので、適宜ご確認ください。

基本テキストデジタル教材について

スマートフォン、タブレットなどで基本テキストを閲覧する「デジタル教材サービス」が2023年目標よりスタートします。

※マイページ登録が必要です。

※リリース時期は科目によって異なります。詳細は、2022年8月頃にマイページの「講座からのお知らせ」にてご案内します。

※デジタル教材は「基本テキスト」のみです。

※デジタル教材の動作環境および注意事項は、TAC WEB SCHOOL (<https://ws.tac-school.co.jp/taiken>)にてご確認ください。

※機種・端末によっては、使えない場合もございます。

対象コース

1・2次ストレート本科生

1・2次速修本科生

1次本科生

1次速修本科生

1次バック生【基本編】

1次単科生【基本＋直前編】

1次単科生【基本編】

ご利用期限2023年10月31日（火）までです。

デジタル教材の詳細についてはこちら



*Mac, iPhone, iPad, Safari は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

*iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

*iOS 商標は、Cisco の米国およびその他の国のライセンスに基づき使用されています。

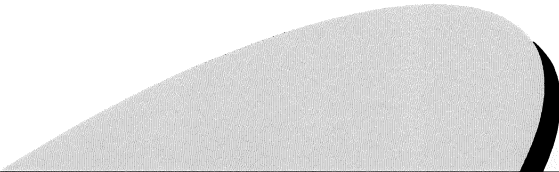
*Android は、米国およびその他の国々で登録された Google Inc.の商標または登録商標です。



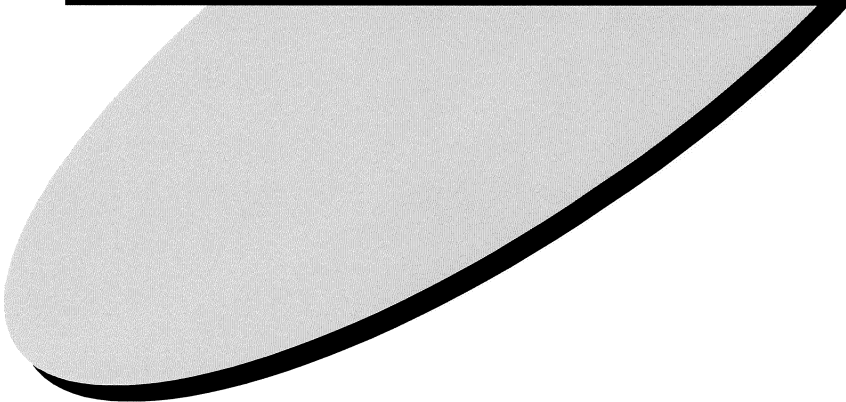
中小企業診断士講座

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT



教室講座編



TAC

1 欠席した場合のフォロー

講義に欠席した場合は以下の欠席者フォロー制度をフルに活用してください。

欠席した場合のフォロー方法	サービスの名称	サービスの内容
1. 欠席した講義を他のクラスに出席して受講する	クラス振替出席フォロー ※テスト類の採点・添削も受けられます。	締め切りクラスを除き会員証とテキスト等をお持ちいただければ、ご希望の校舎・クラスで講義が受けられます。(お手続きは不要)
2. 欠席した講義をビデオブースで受講する	ビデオブース振替フォロー(有料) ※テスト類の採点・添削も受けられます(答案は校舎窓口に提出)。	各校舎のビデオルーム内で講義を視聴できます。[要予約、有料¥500(税込)]詳細は各校舎にお問い合わせください。
3. ご自身のパソコンやスマートフォン・タブレット端末でWeb通信を受講する	Web フォロー(標準装備) ※テスト類の採点・添削も受けられます(答案は校舎窓口に提出)。	Web通信メディアの講義をご自身の端末で視聴できます。 詳細は TAC 利用ガイド通信メディア編「 2 TAC WEB SCHOOL 利用方法」をご覧ください。
4. ご自身のパソコンに講義音声ダウンロードして受講する	音声 DL フォロー(標準装備) ※テスト類の採点・添削も受けられます(答案は校舎窓口に提出)。	講義の音声を受講できます。 詳細は TAC 利用ガイド通信メディア編「 2 TAC WEB SCHOOL 利用方法」をご覧ください。

1. 他のクラスに出席する…「クラス振替出席フォロー」

登録したクラスの講義を欠席した場合、同一コース、同一内容の講義に限り、別クラスの講義に出席できます。

※テスト類(答練、演習等)の採点・添削も受けられます。

添削済答案は TAC WEB SCHOOL マイページにアップとなります。

※クラス振替出席フォローは、受講地区を問わず可能ですが、登録人数の多いクラスによっては、振替出席をご遠慮いただく場合がございます。予めご了承ください。

2. 欠席した講義をビデオブースで受講する…「ビデオブース振替フォロー」

欠席された講義を各校ビデオルーム内の個別ブースにて、ビデオで視聴することができます。予約した校舎のビデオルームでご視聴ください。なお、受講・予約の方法は、TAC 利用ガイドビデオブース講座編「**4** ビデオブース利用方法」をご参照ください。

◇有料 [1回につき 500 円(税込)]、完全予約制(当日予約は不可)となります。

◇視聴開始日は、各日程表をご覧ください。

※テスト類（ミニテスト除く）の採点・添削も受けられますが、通常的答案掲載よりもお時間を要する場合があります。予めご了承ください。

※添削済答案はTAC WEB SCHOOL マイページにアップとなります。

3. Web フォロー・音声 DL フォロー

欠席された講義をインターネットを利用することによって、フォローすることができます。詳細は、TAC利用ガイド通信メディア編「**2** TAC WEB SCHOOL 利用方法」をご覧ください。

◇対象コース：全コース（標準装備）

◇料金：無料。

◇Web フォロー・音声 DL フォローをご利用になる場合は、お申込みの前に必ず下記 TAC ホームページ内「TAC WEB SCHOOL」にて動作環境および、無料デモ体験版の動作をご確認ください。<https://portal.tac-school.co.jp/>

◇Web フォロー・音声 DL フォローの場合、教育訓練給付制度ご利用の方は、出席扱いになりませんのでご注意ください。

※テスト類（ミニテスト除く）の採点・添削も受けられますが、通常的答案掲載よりもお時間を要する場合があります。予めご了承ください。

※添削済答案はTAC WEB SCHOOL マイページにアップとなります。

2 もう一度講義を受講したい場合

◆クラス重複出席フォロー・ビデオブース重複フォロー

一回の受講では十分に理解できなかった講義を、もう一度受講したい場合には、同一講義を再受講することができます。

お申込みの講座や登録コースによって利用できない場合がございます。予めご了承ください。また利用方法等が各校舎によって異なる場合がございますので、詳細は各校受付に必ずお問い合わせください。

1. 対象コース：本科生コースのみ

2. 対象講義：基本講義・速修講義・2次直前講義のみ

※答練・演習は不可

3. 回数：1回ずつ利用可能

4. 利用方法：2つの方法でご利用できます。

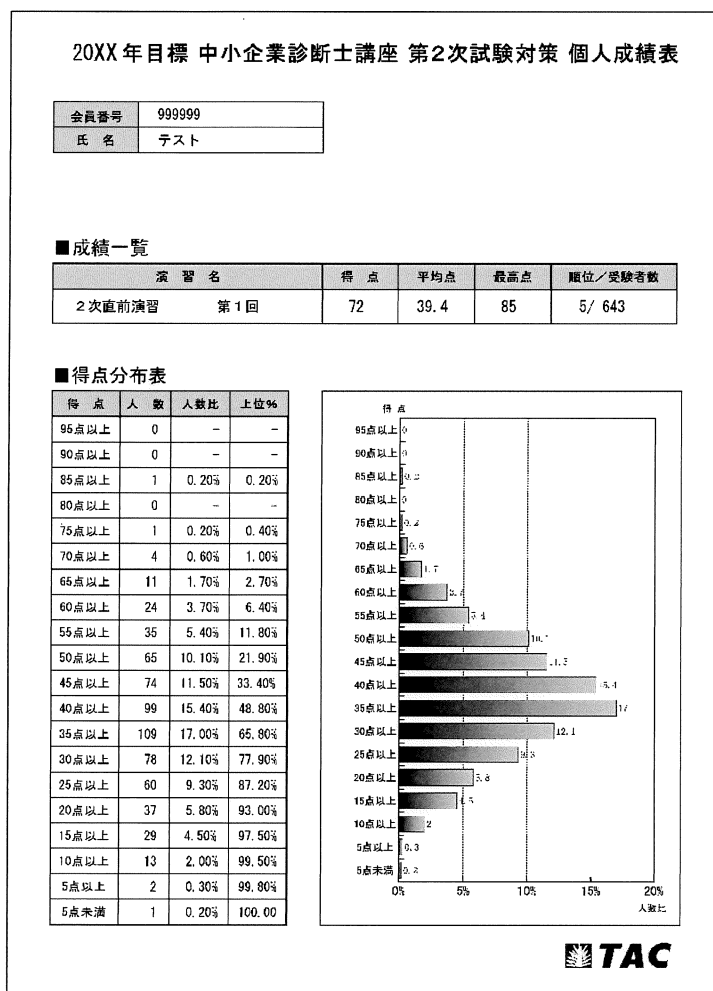
(1) 他のクラスに出席して重複受講する（クラス重複出席フォロー）。

(2) ビデオブース重複フォロー（有料・要予約）で重複受講する。

ビデオブース受講のルールや予約方法などは、TAC 利用ガイドビデオブース講座編「**4** ビデオブース利用方法」をご参照ください。

◆2 次演習

教室で提出された2次演習答案は、TAC WEB SCHOOL マイページにて掲載いたします。
※各演習の成績表・全体得点データ・講評・参考答案などは、TAC WEB SCHOOL の「講座からのお知らせ」にアップします。



◆振替受講での答案返却について

振替受講を利用して教室で2次演習を受けた場合も、TAC WEB SCHOOL マイページにて掲載いたします。

4 教材配布予定・Web 講義配信予定

(1) 通学受講生の《受付窓口》教材配布予定 (2022 年 6 月 1 日現在)

通信受講生の教材発送日程は、日程表にて確認してください。

※受講コースにより、配布教材が異なります。

※配布予定は変更になる場合がございます。

教 材		配布予定
1 次「財務・会計」先どり学習講義テキスト		6 月中旬
基本 テキ スト	企業経営理論	8 月中旬
	財務・会計	10 月中旬
	運営管理	11 月下旬
	経済学・経済政策	12 月上旬
	経営情報システム	2023 年 1 月下旬
	経営法務	2023 年 2 月上旬
	中小企業経営・政策	2023 年 2 月中旬
ト レ ー ニ ン グ	企業経営理論	8 月下旬
	財務・会計	10 月中旬
	運営管理	11 月下旬
	経済学・経済政策	12 月上旬
	経営情報システム	2023 年 1 月下旬
	経営法務	2023 年 2 月上旬
	中小企業経営・政策	2023 年 2 月中旬
1 次過去問題集 (7 科目)		12 月下旬
2 次過去問題集		2023 年 3 月上旬
★	2 次スタートアップテキスト 【Web 受講／教材は窓口配布】	10 月中旬
★	2 次過去問演習①～④ 【Web 受講／教材は窓口配布】	10 月中旬より順次
◆	2 次過去問演習⑤～⑧ 【Web 受講／教材は窓口配布】	11 月上旬より順次
◆	2 次過去問演習⑨～⑫ 【Web 受講／教材は窓口配布】	2023 年 2 月上旬 より順次

教 材		配布予定
1 次最終講義レジュメ	企業経営理論	2023 年 7 月上旬
	財務・会計	2023 年 7 月上旬
	運営管理	2023 年 7 月上旬
	経済学・経済政策	2023 年 7 月上旬
	経営情報システム	2023 年 7 月上旬
	経営法務	2023 年 7 月上旬
	中小企業経営・政策	2023 年 7 月上旬
2 次直前テキスト		2023 年 7 月中旬
2 次再現答案分析レジュメ		2023 年 7 月中旬

★1・2 次ストレート本科生、1・2 次速修本科生、1.5 年本科生（22・23 年目標）、1.5 年本科生（23・24 年目標）のみ

◆1.5 年本科生（22・23 年目標）のみ

▲2 次ファイナル本科生のみ

●上記に記載のない答練・演習については、各講義日に教室にて配布します。

（2）Web 講義の配信予定

1・2 次ストレート本科生、1・2 次速修本科生、1.5 年本科生（22・23 年目標）は下記の講義を TAC WEB SCHOOL での動画視聴にてご受講いただけます。通学受講生は、当該講義の教材を各校受付にて配布いたしますので、会員証をご持参の上、お受け取りください。

演習には添削指導がございますので、添削をご希望の方は受付窓口にて答案を提出してください。

講義名	対象コース			配信開始日
	1・2 次 ストレート	1・2 次 速修	1.5 年 (22・23 年目標)	
2 次スタートアップ講義①②	●	●	●	10/27 (木)
2 次過去問演習①②	●	●	●	
2 次スタートアップ講義③	●	●	●	12/22 (木)
2 次過去問演習③④	●	●	●	
2 次過去問演習⑤⑥			●	1/ 5 (木)
2 次過去問演習⑦⑧			●	1/19 (木)
2 次過去問演習⑨⑩⑪⑫			●	2/13 (月)

通学受講生は、教材を各校受付にてお受け取りください。

2 次ファイナル本科生は下記の講義を TAC WEB SCHOOL での動画視聴にてご受講いただき、学習メディアを問わず、ご登録先の住所に教材をお送りします。

講義名	2 次ファイナル本科生	対象教材
2 次事例Ⅳ特訓	●	2 次事例Ⅳ特訓・2 次事例Ⅳの解き方
2 次最終演習	●	2 次最終演習



中小企業診断士講座

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT



ビデオブース講座編

TAC

1 答練等の受講、答案の採点および成績発表について

1. 答練・演習の受講について

ご視聴いただく講義は解説講義のみとなります。

受講に際しては、以下のいずれかの方法で解答し、その後、講義をご視聴ください。

- (1) ビデオブースで解答
- (2) 自習室にて解答
- (3) 自宅に問題を持ち帰って解答

2. 答案の提出・返却について

(1) 答案の提出について

答案の提出は、各校舎の受付窓口へお願いいたします。

お申込みの講座や登録コース、受講形態によっては自己採点していただくものがございます。詳しくは通学メディア・通信メディア共通編「**3** 演習・答練について」(p.6)をご確認ください。

(2) 答案提出目標日について

各答練・演習には提出目標日を設定しております。目標日までに提出できるよう計画的に学習しましょう。

詳細は、通信メディア編「**5** 答案提出目標日」(p.45)にてご確認ください。

※最終締切日：1次答練は7/21 まで、2次演習は9/29 までにTACに到着しない場合、本試験までに採点できませんのでご注意ください。また、10/16(月)以降にご提出いただく答案の添削結果及び成績表は、マイページにて閲覧できない場合がございますので、ご了承ください。

(3) 答案の返却について

◆1 次答練

提出された答案はコンピュータにより採点し、約2～3週間後にTAC WEB SCHOOLのマイページに個人成績表を掲載します(マークシートは返却いたしません)。

◆2 次演習

2次演習の添削済み答案については、TAC WEB SCHOOLのマイページにて掲載いたします(添削済み答案(紙)の返却はいたしません)。

2 答練・演習の教室振替について

答練・演習は教室受講生と一緒に受けてみたいという方のために、1次養成答練・1次完成答練・2次直前演習に限り、ビデオブース受講から教室受講に振替できる制度です。

●地区 教室講座開講地区のみ

お手続きは不要です。

会員証を持参の上、教室講義に出席してください。日程は、別冊の教室講座日程表で確認の上、ご希望の校舎・クラスで受講してください。

※定員に達したクラスについては、振替受講をお断りするケースがあります。詳細は各校までお問合せください。

3 もう一度講義を受講したい場合

◆ビデオブース重複フォロー

一回の受講では十分に理解できなかった講義を、もう一度受講したい場合には、同一講義を再度受講することができます。

お申込みの講座や登録コースによって利用できない場合がございます。予めご了承ください。また利用方法等が各校舎によって異なる場合がございますので、詳細は各校受付に必ずお問い合わせください。

1. 対象コース：本科生のみ
2. 対象講義：基本講義・速修講義・最終講義・2次直前講義のみ
3. 回数：1回ずつ利用可能
4. 利用方法：ビデオルームでのご利用となります。

※一回あたり 500 円（税込）の利用料金がかかります。

※ビデオブースのご利用には、事前に予約が必要です。

4 教材・レジュメのお渡しについて

ビデオブース講座で使用する教材は、コースによって異なりますが、テキスト、トレーニング等や講義中に配布される答練、演習は、受講前に講義 DVD、講義録と一緒に各校受付でお渡しします。

※教材の保管期限は 2023 年 10 月 31 日までです。教材の請求は期限内にお願いします。

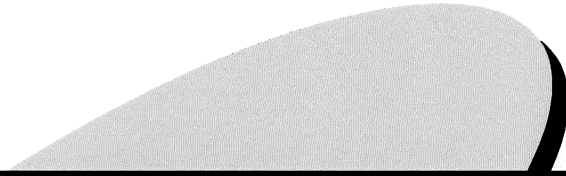
教材の配布予定については、教室講座編「**4** 教材配布予定」（p.31）をご確認ください。



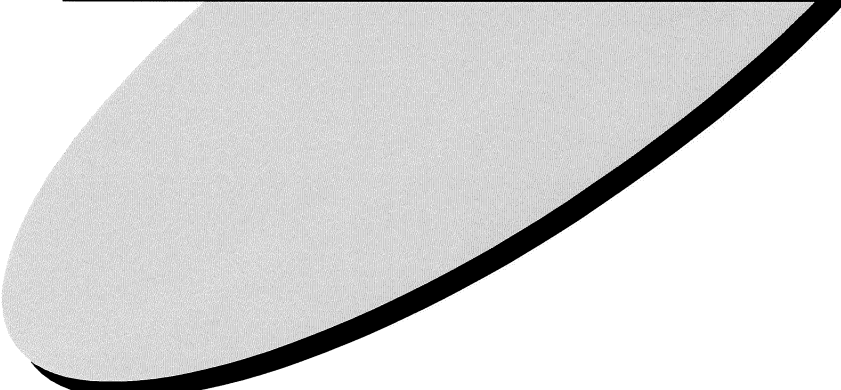
中小企業診断士講座

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT



通信メディア編



TAC

1 教材発送について

1. 教材等の到着日

日程表記載の教材発送日は、TACから出荷する日付です。受講生の皆さんの自宅への到着は、地域によって異なりますが、目安としてTAC発送日の1日～4日後となります。

お届けの際にご不在の場合は、「不在連絡票」が入れられますので、ご確認の上、教材をお受取りください。

なお、初回発送日以降に申し込まれた方には、経過分をまとめて発送いたします。

※通信講座の受講生に向けた、出荷荷物番号が確認できるサービスもご用意しております。

TAC WEB SCHOOL をご確認ください。

2. 教材等の確認

毎回「送付明細表」を添付しておりますので、教材等がお手元に届きましたら、まずは内容のご確認をお願いします。

3. 教材発送に関するお問い合わせ

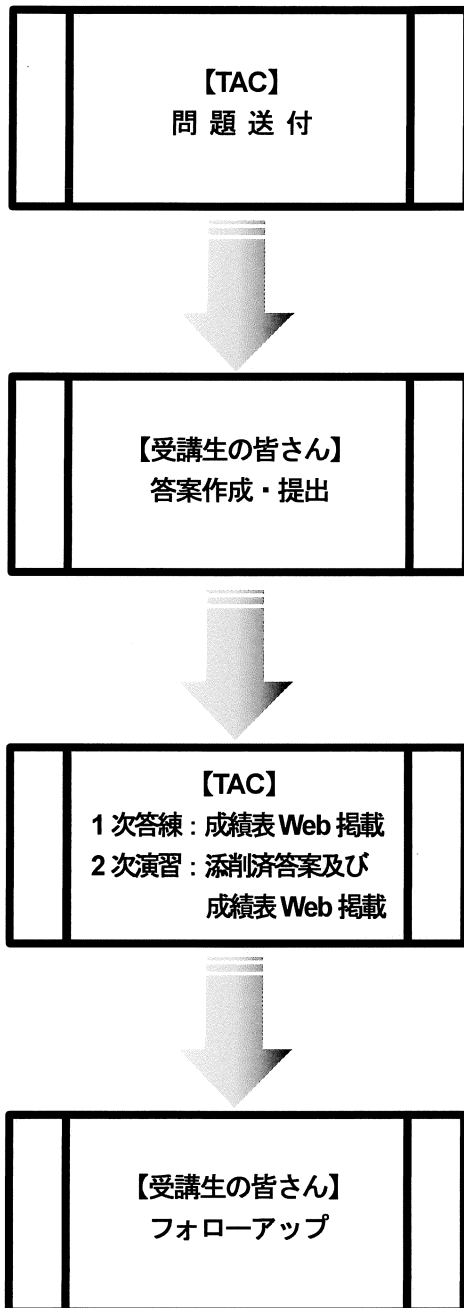
教材の発送漏れ、教材の乱丁・落丁等がありましたら、発送日より1ヶ月以内に送付明細表に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

※お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOL をご確認ください。

なお、会員証記載の有効期限後の請求には応じられません。予めご了承ください。

2 答案添削の流れ

1. 添削システム



送付日程にしたがって問題が送付されます。

計画的に学習し、必ず答案を提出しましょう。

※「**5** 答案提出目標日」(p.45)をご確認ください。

※最終提出締切日(通学メディア・通信メディア共通編「**7** 各種サービス提供期限一覧」(p.14)参照)を過ぎますと、本試験までに採点できませんので厳守してください。

※答案については必ず原本をご提出ください(コピー不可)。

■1 次マークシート答案(答練)は成績表を TAC WEB SCHOOL のマイページに掲載します。

■2 次記述式答案(演習)は添削指導して TAC WEB SCHOOL のマイページに掲載します。

(答案掲載までの目安は、TAC 到着後、約2～3週間です。)

※詳細は「**5** 答案提出目標日」(p.45)をご確認ください。

Web に掲載された成績表、添削済答案と解答・解説等で、フォローアップをしっかりと行ってください。

※詳細は教室講座編「**3** 答案の採点および成績発表について」(p.29)をご確認ください。

解答用紙オモテ面に住所・氏名・会員番号等を書く欄があります。万が一 TAC WEB SCHOOL にて掲載できない場合に使用しますので、必ずご記入ください。特に住所・氏名欄は、楷書で丁寧に記入してください。

3. 答案作成上の注意

① マークシート答案の作成は、必ず HB か B の鉛筆またはシャープペンシルで解答してください。それ以外の筆記用具（ボールペンや万年筆、水性ペンなど）で解答されているものは採点処理できません。

② 会員番号・氏名・誕生日・受験地区等の記入漏れや記入ミス・マークミスがあった場合、成績表が正しく表示されないことがございます。ご記入には十分ご注意ください。

- ① 記述式答案の作成は、必ず HB か B の鉛筆またはシャープペンシルで解答してください。
- ② 答案用紙の指定欄に、会員番号・氏名等の必要事項を必ずご記入ください。
- ③ 答案用紙については必ず原本をご提出ください。

4. 答案最終提出締切日

各種答練・演習には最終提出締切日がございます。通学メディア・通信メディア共通編「**7** 各種サービス提供期限一覧」(p.14)をご確認ください。

※教育訓練給付制度をご利用の方は、ご自身の修了日が提出の最終締切日となります。

5. 答案郵送の方法

教材送付時に同封されている専用の返信用封筒に切手を貼って提出してください。

専用の封筒がお手元にない場合には、市販の封筒でも構いません。

下記送付先を明記してください。その際は、表に答案在中と赤書してください。

〒 101-8383 東京都千代田区神田三崎町 3-2-18
TAC 通信教育部 行

6. お問い合わせ

答練・演習の到着状況に関するお問い合わせは、TAC 通信教育部・答案管理担当までお願いします。

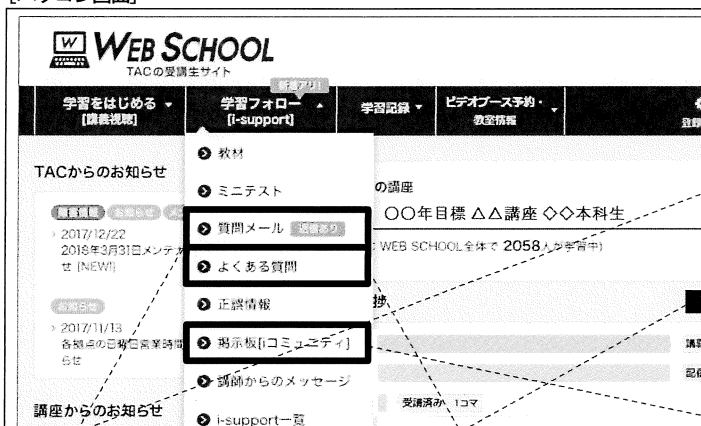
※お問い合わせ先は TAC WEB SCHOOL をご確認ください。

3 i-support

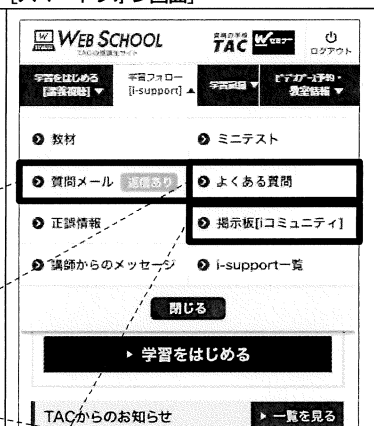
TAC のインターネットフォローシステム「i-support」は、受講生と講師、受講生同士といった双方向のコミュニケーション学習を可能にします。メールで疑問点を質問できる「質問メール」、学習上よくある質問をデータベース化した「よくある質問」、Web 上で情報交換ができる「掲示板 [i-コミュニティ]」など、フォロー体制は万全です。

※お申込みいただいている講座・コースにより、ご利用いただける機能は異なります。

[パソコン画面]



[スマートフォン画面]



◆質問メール

学習上の疑問点など質問したい場合、いつでもメールで質問が出来ます。疑問点や不明な点は早めに解決することが大切です。講師またはスタッフがわかりやすく丁寧にお答えします。

※回答もマイページ上でご確認いただけます。

◆よくある質問

疑問点や不明点があったら、まずは「よくある質問」をご覧ください。一般的に多い質問や他の方がすでに質問した事項をデータベースに集めてありますので、疑問に思う項目を探すことができます。

◆掲示板 [i-コミュニティ]

同じ試験を目指す仲間の情報交換の場がi-コミュニティ。言ってみればインターネット上に設けたコミュニケーションの場です。受講生同士で試験のことや学習方法など、自由にディスカッションを行うことができます。

1. ご利用方法

「i-support」は TAC WEB SCHOOL のマイページよりご利用いただけます。マイページ登録・ログイン方法は、TAC 利用ガイド通学メディア・通信メディア共通編「**3** マイページ登録について」をご参照ください。

2. 注意事項

TAC では『i-support』の操作方法につきましてはサポートしております（巻末、お問い合わせ一覧参照）が、それ以外の内容（パソコンの使い方・故障・プロバイダーへの接続不具合等）につきましてはサポートいたしかねますので、直接メーカーやプロバイダーにお問い合わせください。

4 スクーリング〔本科生限定〕

対象となる通信メディアの受講生が、TAC 各校舎で開講されている教室講座に無料で出席できる制度です。同じ目的を持ったライバルと顔を合わせる良い機会ですので、ぜひご活用ください。

なお、ご利用の際は必ず会員証と教材をご持参の上、直接ご希望の教室にお入りください。

◆スクーリングには、利用回数に上限があります。また、お申し込みいただいている講座・コースにより利用回数の上限が異なりますのでご注意ください。

□スクーリング利用可能回数

1・2次ストレート本科生	…25回
1・2次速修本科生	…10回
1次本科生	…25回
1次速修本科生	…10回
1.5年本科生（22・23年目標総計）（23・24年目標総計）	…30回
2次ファイナル本科生	…5回

◆スクーリングをご利用の際は、各校舎の教室日程をご確認いただき、必ず会員証と教材をご持参の上、受講してください。

各コースの「教室講義日程」「利用開始日」「教材送付日程」については、以下のホームページにアップいたしますのでご確認ください。

■TACホームページ「講義日程のご案内」

https://www.tac-school.co.jp/kouza_chusho/chusho_nittei_odd.html



予約は不要ですが、締切クラスについては出席をお断りすることがあります。また、日程はやむを得ず変更される場合もございます。事前に TAC 各校舎へお問い合わせください。

◆答練・演習をスクーリングする場合、答案は教室で提出せず、通常通り専用の返信用封筒に切手を貼って提出してください。

※教育訓練給付制度をご利用の場合、答案を教室で提出されますと提出率に加算されませんのでご注意ください。

5 答案提出目標日

(1) 答案提出目標日について

添削問題には提出目標日を設定しております。目標日までに提出できるよう計画的に学習しましょう。

※目標日を過ぎてても添削・採点を行います。但し、最終締切日を過ぎて提出された答案は本試験までに返却できない場合がございますので予めご了承ください。

	答 案	通信講座 答案提出目標日	通信講座 1次答練 個人成績表・ 得点データ アップ予定日 (★)	給付制度 提出課題
1 次 基 本 編	1次養成答練 企業経営理論	2022年11月 4日(金)	2022年11月16日(水)	○
	1次養成答練 財務・会計	2022年12月 9日(金)	2022年12月21日(水)	○
	1次養成答練 運営管理	2023年 1月20日(金)	2023年 2月 1日(水)	○
	1次養成答練 経済学・経済政策	2023年 2月17日(金)	2023年 3月 1日(水)	○
	1次養成答練 経営情報システム	2023年 3月10日(金)	2023年 3月22日(水)	○
	1次養成答練 経営法務	2023年 4月 7日(金)	2023年 4月19日(水)	○
	1次養成答練 中小企業経営・政策	2023年 4月21日(金)	2023年 5月10日(水)	○
1 次 直 前 編	1次完成答練① 企業経営理論	2023年 5月 5日(金)	2023年 5月17日(水)	○
	1次完成答練① 財務・会計	2023年 5月12日(金)	2023年 5月24日(水)	○
	1次完成答練① 運営管理	2023年 5月12日(金)	2023年 5月24日(水)	○
	1次完成答練① 経済学・経済政策	2023年 5月23日(火)	2023年 5月31日(水)	○
	1次完成答練① 経営情報システム	2023年 5月23日(火)	2023年 5月31日(水)	○
	1次完成答練① 経営法務	2023年 5月26日(金)	2023年 6月 7日(水)	○
	1次完成答練① 中小企業経営・政策	2023年 5月26日(金)	2023年 6月 7日(水)	○
	1次完成答練② 企業経営理論	2023年 6月 2日(金)	2023年 6月14日(水)	○
	1次完成答練② 財務・会計	2023年 6月 2日(金)	2023年 6月14日(水)	○
	1次完成答練② 運営管理	2023年 6月 9日(金)	2023年 6月21日(水)	○
	1次完成答練② 経済学・経済政策	2023年 6月20日(火)	2023年 6月28日(水)	○
	1次完成答練② 経営情報システム	2023年 6月20日(火)	2023年 6月28日(水)	○
	1次完成答練② 経営法務	2023年 6月20日(火)	2023年 6月28日(水)	○
	1次完成答練② 中小企業経営・政策	2023年 6月23日(金)	2023年 7月 5日(水)	○

(★) 答案提出目標日までにTACに到着した答案の1次答練個人成績表・得点データアップ予定日です。TACへの到着が遅れますと、その分アップも遅れます(概ね、TAC到着の2~3週間後)。

	答 案	答案提出目標日	2次演習 Web掲載日	2次演習 成績表アップ日	給付制度 提出課題
2 次 入 門 編	2次過去問演習①	2022年11月16日(水)	TAC到着の 2～3週間後 (答案提出 目標日より 前にTAC到 着の場合、 答案提出目 標日の2～3 週間後)	—	×
	2次過去問演習②	2022年11月16日(水)		—	×
	2次過去問演習③	2023年 1月11日(水)		—	×
	2次過去問演習④	2023年 1月11日(水)		—	×
	2次過去問演習⑤ (■)	2023年 1月18日(水)		—	×
	2次過去問演習⑥ (■)	2023年 1月18日(水)		—	×
	2次過去問演習⑦ (■)	2023年 2月 8日(水)		—	×
	2次過去問演習⑧ (■)	2023年 2月 8日(水)		—	×
	2次過去問演習⑨ (■)	2023年 2月22日(水)		—	×
	2次過去問演習⑩ (■)	2023年 2月22日(水)		—	×
	2次過去問演習⑪ (■)	2023年 3月 8日(水)		—	×
	2次過去問演習⑫ (■)	2023年 3月 8日(水)		—	×
2 次 直 前 編	2次直前演習①	2023年 8月23日(水)	TAC到着の 2～3週間後 (答案提出 目標日より 前にTAC到 着の場合、 答案提出目 標日の2～3 週間後)	2023年 9月12日(火)	○
	2次直前演習②	2023年 8月23日(水)		2023年 9月14日(木)	○
	2次直前演習③	2023年 8月30日(水)		2023年 9月20日(水)	○
	2次直前演習④	2023年 8月30日(水)		2023年 9月22日(金)	○
	2次直前演習⑤	2023年 9月11日(月)		2023年10月 3日(火)	○
	2次直前演習⑥	2023年 9月11日(月)		2023年10月 5日(木)	○
	2次直前演習⑦	2023年 9月15日(金)		2023年10月10日(火)	○
	2次直前演習⑧	2023年 9月15日(金)		2023年10月12日(木)	○
	2次最終演習①	2023年 9月20日(水)		2023年10月10日(火)	×
	2次最終演習②	2023年 9月20日(水)		2023年10月10日(火)	×
	2次最終演習③	2023年 9月22日(金)		2023年10月13日(金)	×
	2次最終演習④	2022年 9月22日(金)		2023年10月13日(金)	×

(■) 1.5 年本科生 (22・23 年目標) のみ。

※最終締切日：1 次試験対策は 7/21 まで、2 次試験対策は 9/29 までに TAC に到着しない場合、本試験までに返却できませんのでご注意ください。

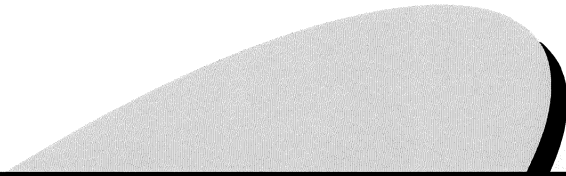
※2 次試験対策の答案で 10/16 (月) 以降に TAC に届いた答案は、添削結果及び成績表がマイページにて閲覧できない場合がございますので、ご了承ください。



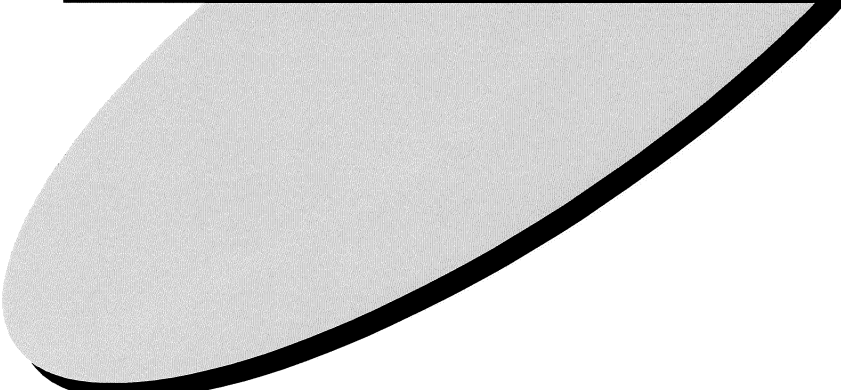
中小企業診断士講座

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT



オリエンテーション編



TAC

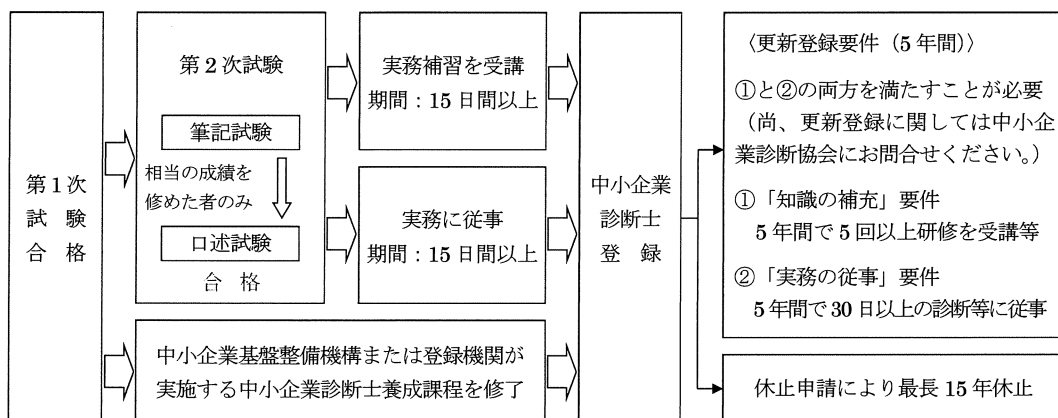
1 中小企業診断士試験について

1. 中小企業診断士試験の概要

中小企業診断士になるまでの道筋は以下のとおりです。

この流れに沿って、それぞれの概要を次に説明していきます。

診断士登録までの流れ



試験比較

	第1次試験	第2次筆記試験	第2次口述試験
試験日	例年8月初旬の 土・日曜日（2日間）	例年10月下旬の 日曜日	例年12月中旬～1月下旬の 日曜日
合格発表	例年9月上旬	例年12月上旬～1月下旬	例年12月下旬～2月上旬
試験形式	択一式（マークシート）	記述式	面接形式
科目数	7科目	4科目	—
受験資格	特になし	当該年度および前年度の第1次試験合格者（全科目）	当該年度の第2次筆記試験合格者
受験地	全国8地区（札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇）※1		
合格基準	免除科目を除く全科目の総点数の60%以上であって、かつ1科目でも満点の40%未満のないことを基準とし、試験委員会が相当と認めた得点比率とする。総点数で不合格の場合、科目ごとに合格が判定される（満点の60%を基準として、試験委員会が相当と認めた得点比率）。3年以内に全ての科目に合格することが必要。	総点数の60%以上。ただし1科目でも40%未満の科目があれば不合格。	評定が60%以上。
科目合格	あり	なし	—
科目免除	あり	なし	—

※1 那覇は第1次試験のみ。

(1) 第1次試験

① 試験科目

次の7科目が2日間に分けて実施されます。

第1次試験科目一覧

科 目	時 間	配 点
経済学・経済政策	60 分	100 点
財務・会計	60 分	100 点
企業経営理論	90 分	100 点
運営管理	90 分	100 点
経営法務	60 分	100 点
経営情報システム	60 分	100 点
中小企業経営・政策	90 分	100 点
計	510 分	700 点

② 試験日程

受験日：8月初旬の土・日曜日（令和4年度例：8月6日(土)・7日(日)）

合格発表日：未定（令和4年度例：9月6日(火)）

③ 受験資格

年齢、性別、学歴等に制限はありません。

④ 合格の有効期間

第1次試験合格の有効期間は、2年間です。したがって、合格年度とその翌年度の2回に限り第2次筆記試験を受験できます。

平成12年度以前の第1次試験合格者については、1回に限り第1次試験を免除されて第2次試験を受験できます。（期間の限定はありません。ただし、平成13年度以降に第1次試験に合格して第2次筆記試験を受験した方は除きます。また、平成18年度以降中小企業診断士養成課程を受講した方も除きます。）

(2) 第2次筆記試験

① 試験科目

筆記試験は、『経営革新・改善』、『新規事業開発（既存事業の再生を含む）』などのなかから、次のように出題されます。

第2次試験科目・出題内容一覧

試験科目	出題事例	時間	配点
中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅰ	『組織（人事を含む）を中心とした経営の戦略および管理に関する事例』	80分	100点
中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅱ	『マーケティング・流通を中心とした経営の戦略および管理に関する事例』	80分	100点
中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅲ	『生産・技術を中心とした経営の戦略および管理に関する事例』	80分	100点
中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ	『財務・会計を中心とした経営の戦略および管理に関する事例』	80分	100点

※試験科目と出題事例の関係は明文化されてはいませんが、過去の例では全て上記のとおり出題されています。

② 試験日程

試験日：10月下旬の日曜日（令和4年度例：10月30日（日））

筆記試験合格発表日：12月上旬～1月下旬

（令和4年度例：令和5年1月12日（金））

③ 受験資格

第2次試験を受験できるのは次のいずれかの方です。

(1) 当該年度または前年度の第1次試験合格者

(2) 平成12年度以前の第1次試験合格者については、1回に限り第1次試験を免除されて第2次試験を受験できます。（期間の限定はありません。ただし、平成13年度以降に第1次試験に合格して第2次試験を受験した方は除きます。また、平成18年度以降中小企業診断士養成過程を受講した方も除きます。）

④ 合格の有効期限

「口述試験を受ける権利」は、第2次筆記試験に合格した当該年度に限り有効です。

※第2次試験の筆記試験に合格した方が口述試験に不合格となった場合、翌年度の第2次試験は筆記試験から受験しなければなりません。

(3) 第2次口述試験

① 試験内容

試験時間は1人当たり約10分間、面接官2人対受験者1人の面接形式で実施されます。

口述試験では、第2次筆記試験の事例問題に登場する企業について、筆記試験とは異なる角度で問われます。

尚、口述試験を受験するに当たっては、一切の資料・書籍等を見ることができません。

② 試験日程

試験日 12月中～1月下旬（令和4年度例：令和5年1月22日(日)）

合格発表日 12月下旬～2月上旬（令和4年度例：令和5年2月1日(水)）

③ 受験資格

口述試験は、筆記試験にて相当の成績を修めた者のみが受けることができます。

④ 合格の有効期限

第2次試験合格の有効期間は3年間です。

(3年以内に実務補習または実務従事を終え、登録の手続きを取る必要があります。)

補足 試験制度 詳細情報

1. 合格率

《第1次試験》

	申込者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (B)/(A)
平成29年度	20,118人	14,343人	3,106人	21.7%
平成30年度	20,116人	13,773人	3,236人	23.5%
令和元年度	21,163人	14,691人	4,444人	30.2%
令和2年度	20,169人	11,785人	5,005人	42.5%
令和3年度	24,495人	16,057人	5,839人	36.4%

《第2次試験》

	申込者数	筆記試験の 受験者数 (A)	口述試験を 受験する資格 を得た方の数	合格者数 (B)	合格率 (B)/(A)
平成29年度	4,453人	4,279人	830人	828人	19.4%
平成30年度	4,978人	4,812人	906人	905人	18.8%
令和元年度	6,161人	5,954人	1,091人	1,088人	18.3%
令和2年度	7,082人	6,388人	1,175人	1,174人	18.4%
令和3年度	9,190人	8,757人	1,605人	1,600人	18.3%

＜中小企業診断協会ホームページのデータをもとに作成＞

2. 第1次試験他資格等保有による科目免除

※第1次試験は、下記の方については一部の科目が申請により免除されます。

科目免除対象者	免除科目
大学等の経済学の教授、准教授・旧助教授（通算3年以上）	経済学・経済政策
経済学博士	
公認会計士試験または旧公認会計士試験第2次試験において経済学を受験して合格した者	
不動産鑑定士、不動産鑑定士試験合格者、不動産鑑定士補、旧不動産鑑定士試験第2次試験合格者	財務・会計
公認会計士、公認会計士試験合格者、会計士補、会計士補となる有資格者	
税理士、税理士法第3条第1項第1号から第3号までに規定する者	経営法務
弁護士、司法試験合格者、旧司法試験第2次試験合格者	
技術士（情報工学部門登録者に限る）、情報工学部門に係る技術士となる資格を有する者	経営情報システム
次の区分の情報処理技術者試験合格者 （ITストラテジスト、システムアーキテクト、応用情報技術者、システムアナリスト、アプリケーションエンジニア、システム監査、プロジェクトマネージャ、ソフトウェア開発、第1種、情報処理システム監査、特種）	

3. 第1次試験科目合格パターン例

ここに記載する科目合格のパターンは、一例です。

〈中小企業診断士第1次試験案内の記載内容をもとに作成〉

(1) 科目合格による免除が認められるパターン例

- ① 科目合格の場合は、翌年度と翌々年度の第1次試験を受験する際、申請により当該科目が免除されます。
- ② の掛かった年に第2次試験を受験することができます。
- ：受験して合格 ×：不合格または欠席 免除：申請により科目免除

〈科目合格による免除が認められるパターン例1〉

科 目	1 年 目	2 年 目	3 年 目	4 年 目	5 年 目
A 経済学・経済政策	○	免除	免除		
B 財務・会計	×	×	○		
C 企業経営理論	×	○	免除		
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	免除	免除		
E 経営法務	○	免除	免除		
F 経営情報システム	×	×	○		
G 中小企業経営・中小企業政策	×	○	免除		
補 足 説 明	*1	*2	*3		

*1 1 年目：7 科目受験して 3 科目合格

*2 2 年目：3 科目免除申請のうえ、4 科目受験して 2 科目合格

*3 3 年目：5 科目免除申請のうえ、2 科目受験して 2 科目合格 これにより第1次試験合格

〈科目合格による免除が認められるパターン例2〉

科 目	1 年 目	2 年 目	3 年 目	4 年 目	5 年 目
A 経済学・経済政策	○	免除	免除		
B 財務・会計	×	×	○		
C 企業経営理論	×	○	免除		
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	免除	免除		
E 経営法務	他資格免除	他資格免除	他資格免除		
F 経営情報システム	×	×	○		
G 中小企業経営・中小企業政策	×	○	免除		
補 足 説 明	*1	*2	*3		

*1 1 年目：他資格等保有による 1 科目免除申請のうえ、6 科目受験して 2 科目合格

*2 2 年目：他資格等保有による 1 科目免除申請と科目合格による 2 科目免除申請のうえ、4 科目受験して 2 科目合格

*3 3 年目：他資格等保有による 1 科目免除申請と科目合格による 4 科目免除申請のうえ、2 科目受験して 2 科目合格 これにより第1次試験合格

〈科目合格による免除が認められるパターン例 3〉

科 目	1 年 目	2 年 目	3 年 目	4 年 目	5 年 目
A 経済学・経済政策	○	免除	免除	○	
B 財務・会計	×	×	○	○	
C 企業経営理論	×	○	免除	○	
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	免除	免除	○	
E 経営法務	○	免除	免除	○	
F 経営情報システム	×	×	○	○	
G 中小企業経営・中小企業政策	×	○	免除	○	
補 足 説 明	*1	*2	*3	*4	

*1 1 年目：7 科目受験して 3 科目合格

*2 2 年目：3 科目免除申請のうえ、4 科目受験して 2 科目合格

*3 3 年目：5 科目免除申請のうえ、2 科目受験して 2 科目合格 これにより第 1 次試験合格

*4 4 年目：1 回で 7 科目すべて合格。2 回目の第 1 次試験合格

〈科目合格による免除が認められるパターン例 4〉

科 目	1 年 目	2 年 目	3 年 目	4 年 目	5 年 目
A 経済学・経済政策	○	×	免除		
B 財務・会計	×	○	免除		
C 企業経営理論	×	○	免除		
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	×	免除		
E 経営法務	○	×	免除		
F 経営情報システム	×	○	免除		
G 中小企業経営・中小企業政策	×	○	免除		
補 足 説 明	*1	*2	*3		

*1 1 年目：7 科目受験して 3 科目合格

*2 2 年目：7 科目受験して 4 科目合格 1 年目に科目合格した 3 科目の免除申請をしていないため、第 1 次試験合格にはならない。

*3 3 年目：7 科目すべてを免除申請 これにより第 1 次試験合格

（この場合は、3 年目の第 1 次試験申込受付期間内に、全科目免除を申請のうえ、受験申込手続きを行う必要があります。）

(2) 科目合格による免除が認められないパターン例

- ① 第1次試験に合格すると、それまでの科目合格による科目免除の申請資格はなくなります。
- ② 「免除」の文字の上の **×** 印は、免除申請できないことを示しています。
- ③ の掛かった年に第2次試験を受験することができます。
○：受験して合格 ×：不合格または欠席 免除：申請により科目免除

〈科目合格による免除が認められないパターン例1〉

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A 経済学・経済政策	○		免除		
B 財務・会計	○		免除		
C 企業経営理論	○		免除		
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○		免除		
E 経営法務	○		免除		
F 経営情報システム	○		免除		
G 中小企業経営・中小企業政策	○		免除		
補 足 説 明	*1		*2		

*1 1年目：7科目すべて合格 第1次試験合格

*2 3年目：1年目に第1次試験合格のため免除申請はできない

〈科目合格による免除が認められないパターン例2〉

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A 経済学・経済政策	○	免除	免除		
B 財務・会計	○	免除	免除		
C 企業経営理論	×	○	免除	免除	
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	免除	免除		
E 経営法務	×	○	免除	免除	
F 経営情報システム	×	×	○	免除	免除
G 中小企業経営・中小企業政策	○	免除	免除		
補 足 説 明	*1	*2	*3	*4	*5

*1 1年目：7科目受験して4科目合格

*2 2年目：4科目免除申請のうえ、3科目受験して2科目合格

*3 3年目：6科目免除申請のうえ、1科目受験して合格 これにより第1次試験合格

*4 4年目：3年目に第1次試験合格となったため、2年目または3年目に合格した科目の免除申請はできない

*5 5年目：3年目に第1次試験合格となったため、3年目に合格した科目の免除申請はできない

(3) 第1次試験の合格とならないパターン例

- ① 3年目・4年目・5年目のように、免除申請を行わず、受験して不合格となった場合は第1次試験の合格にはなりません。
- ②  の掛かった年に第2次試験を受験することができます。
- ：受験して合格 ×：不合格または欠席 免除：申請により科目免除

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
A 経済学・経済政策	○	免除	○×	○	免除	○	
B 財務・会計	○	免除	免除	○	免除	免除	
C 企業経営理論	×	○	免除	免除	○	免除	
D 運営管理 (オペレーションマネジメント)	○	免除	免除	○	免除	免除	
E 経営法務	×	○	免除	免除	○	免除	
F 経営情報システム	×	×	○	○×	免除	○	
G 中小企業経営・中小企業政策	○	免除	免除	○	○×	免除	
補 足 説 明			*1	*2	*3	*4	

- *1 3年目：5科目免除申請のうえ、2科目受験して1科目合格 1年目に科目Aは合格しているが、免除申請をしていない（○×部分）ため、第1次試験合格にはならない
- *2 4年目：2科目免除申請のうえ、5科目受験して4科目合格 3年目に科目Fは合格しているが、免除申請をしていない（○×部分）ため、第1次試験合格にはならない
- *3 5年目：4科目免除申請のうえ、3科目受験して2科目合格 4年目に科目Gは合格しているが、免除申請をしていない（○×部分）ため、第1次試験合格にはならない
- *4 6年目：5科目免除申請のうえ、2科目受験して2科目合格 これにより第1次試験合格

4. 実務従事・実務補習

経済産業大臣に中小企業診断士として登録を受けるには、登録の申請の日前3年以内に第2次試験に合格し、次の(1)のいずれかの実務に15日以上従事すること、または(2)のいずれかの実務補習を15日以上受けることが必要です。

(1) 診断・助言業務

- ① 国・都道府県、中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う診断・助言業務
- ② 中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う窓口相談などの業務
- ③ 中小企業に関する団体が行う中小企業の診断・助言または窓口相談などの業務
- ④ その他の団体または個人が行う診断・助言または窓口相談などの業務
- ⑤ 中小企業の振興に関する国際協力などのための海外における業務

(2) 実務補習

- ① 登録実務補習機関による実務補習
- ② 中小企業基盤整備機構、都道府県等中小企業支援センターにおける実務補習

5. 登録・更新

実務従事・実務補習を修了すると、所定の認定手続を経て、中小企業診断士として登録されます。

(1) 登録の有効期間：5年間。5年ごとに登録を更新します。

(2) 更新の要件：登録を更新するためには、登録有効期間内に、以下の①、②の両方を満たす必要があります。

① 「知識の補充」に関する要件

登録有効期間内に次のいずれかを5回以上行うこと。

1) 理論政策更新研修

理論政策更新研修機関が行う診断または助言に関する知識の補充のための研修または中小企業基盤整備機構が行う研修を修了したこと。

2) 論文審査

理論政策更新研修機関が行う診断または助言に関する論文の審査に合格したこと。

3) 研修の指導

理論政策更新研修について、その1回の日程を通じて指導を行ったこと。

② 「実務の従事」に関する要件

登録有効期間内に次のいずれかの中小企業の経営診断実務に合計30日以上従事すること。

1) 診断・助言業務

- i 国・都道府県、中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う診断・助言業務
- ii 中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う窓口相談などの業務
- iii 中小企業に関する団体が行う中小企業の診断・助言または窓口相談などの業務
- iv その他の団体または個人が行う診断・助言または窓口相談などの業務
- v 中小企業の振興に関する国際協力などのための海外における業務

2) 実務補習の受講

3) 実務補習の指導

6. 中小企業診断士の実務の休止について

当面中小企業に対する経営診断の実務に従事する機会がない場合について、登録有効期間内に休止を申請することで、休止申請日の翌月 1 日から 15 年を限度に登録有効期間を延長することができます。

なお、登録を再開するには、申請の日前 3 年以内に、次の①、②の両方を満たす必要があります。

- ① 知識の補充として更新研修を 5 回受講する。
- ② 試験合格者と同様に実務または実務補習に 15 日以上従事または受講する。

7. 登録の拒否

次のいずれかに該当する場合は、中小企業診断士の登録を受けることができません。

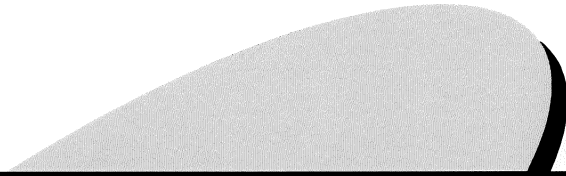
- ① 未成年者
- ② 成年被後見人または被保佐人
- ③ 破産者であって復権を得ないもの
- ④ 禁固以上の刑に処せられた者であって、その執行を終わり、または執行を受けることがなくなった日から 3 年を経過しないもの
- ⑤ 国会職員法、国家公務員法または地方公務員法の規定により懲戒免職の処分を受けた者であって、その処分を受けた日から 3 年を経過しないもの
- ⑥ 弁理士法、公認会計士法、弁護士法、税理士法または技術士法の規定により登録の抹消、取り消し若しくは消除の処分（本人に登録を存続させる意思がないと認められることまたは本人が当該業務を廃止したことを理由とするものを除く。）を受け、または業務を禁止された者であって、その処分を受けた日から 3 年を経過しないもの
- ⑦ 正当な理由がなく、中小企業診断士の業務上取り扱ったことに関して知り得た秘密を漏らし、または盗用した者であって、その行為をしたと認められる日から 3 年を経過しないもの
- ⑧ ①～⑦に掲げるもののほか、中小企業診断士の信用を傷つけるような行為をした者であって、その行為をしたと認められる日から 3 年を経過しないもの



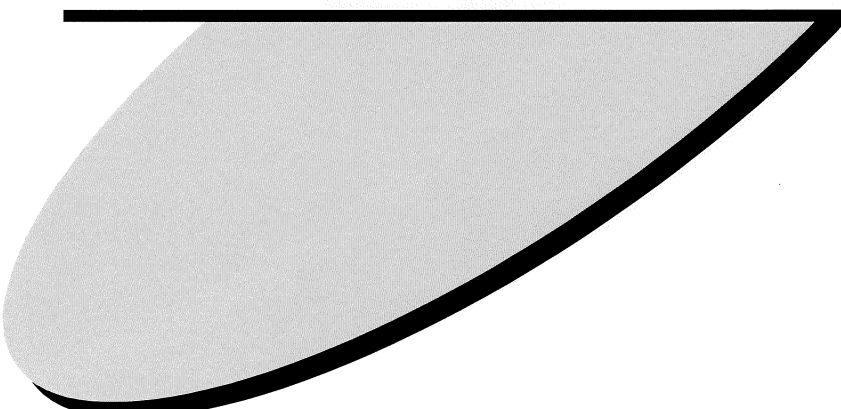
中小企業診断士講座

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT



日 程 表



TAC

1. 日程表について

各コースの「教室講義日程」「利用開始日」「教材送付日程」については、以下のホームページにアップいたしますのでご確認ください。

■TACホームページ「講義日程のご案内」

https://www.tac-school.co.jp/kouza_chusho/chusho_nittei_odd.html



＜ホームページ「講義日程のご案内」＞ ※HPの画面は異なる場合がございます。

①

TACホームページ 中小企業診断士
トップページへアクセスしてください。



②

ページ内の「学習情報」のメニューから、「講義日程のご案内」をクリックしてください。



③

「2023 年合格目標」を選択し、日程をご確認いただきたいコースの PDF リンクをクリックしてください。



各種変更手続き

現在 TAC に登録いただいている内容に変更が必要な場合、**変更日の 10 日前までに**（必着）次ページにあります「**変更届出書**」の太枠線内の事項を楷書で丁寧に記入し、提出してください。

変更できる項目には、

1. 現住所・電話番号	2. 教材送付先	3. 氏名	4. DMストップ
-------------	----------	-------	-----------

がございます。

【変更届出書の記入・提出方法】

変更届出書の STEP1～4 に漏れなくご記入いただき、下記のいずれかの方法で提出してください。

① 各校受付窓口に提出

② 郵送で提出

＜郵送先＞ 〒101-8383 東京都千代田区神田三崎町 3-2-18 TAC 情報システム部

③ FAX で提出

＜FAX 番号＞ 03 (5276) 8939

【変更届出書の記入における注意事項】

- ・ 個人情報保護法の規範に準じまして、電話やメールでの変更は承っておりません。必ずご本人が記入・申請をしてください。
- ・ 右上「記入日」欄も正確にご記入ください。
- ・ 楷書で丁寧に記入してください。記載内容が不明の場合、変更のお手続きができません。
- ・ 通信メディア（DVD 通信講座・Web 通信講座・音声 DL 通信講座・資料通信講座）で受講の方は、教材発送日の 10 日前までに「現住所」または「教材送付先」の変更手続きが完了していませんと、正しい住所に送付されない場合がございます。なお、海外への教材発送は行っておりません。
- ・ DM ストップを希望された場合でも、学习上重要なお案内（日程変更・正誤表・全国公開模試の案内等）は送付される場合がございます。
※学习上重要なお案内は、受講されている講座・コースにより異なります。

変更届出書

STEP 1 お客様情報 全てご記入ください。		記入日	20	年	月	日
会員番号						※お預かりした個人情報、お客様の同意なく業務委託先以外の第三者に開示、提供することはありません。
フリガナ	姓	名			生年月日	
氏名					昭和・平成	年 月 日
教育訓練給付制度	現在 教育訓練給付制度を（ 利用している ・ 利用していない ） （どちらかに○をしてください）					

STEP 2 変更事項	変更項目に○印をし、変更希望日を記入してください。※メール配信解除をご希望の方は下記参照					
変更項目	1. 現住所・電話番号 2. 教材送付先 3. 氏名（STEP4で変更） 4. DMストップ					
変更日	20 年 月 日 から 変更を希望します。					

STEP 3 受講講座・コース	受講確認 現在 いずれかの講座・コースを、（ 受講している ・ 受講していない ） （どちらかに○をしてください）					
受講形態	通学（ 教室 ・ ビデオブース ） / 通信（ DVD ・ WEB ・ DL ・ 資料 ） （該当する項目全てに○をしてください）					
00.簿記検定	01.アクセス(会計士)	02.公認会計士	03.税理士	03.経理/税法/病院/法務	03.経営学検定	
03.個人情報/マイナンバー	04.情報処理	05.宅地建物取引士	06.社会保険労務士	07.行政書士	09.米国公認会計士	
09.米国税理士	09.米国公認管理会計士	10.中小企業診断士	11.証券アナリスト/CFA®	11.証券外務員/PB	11.貸金業務取扱主任者	
12.不動産鑑定士	13.FP/DCプランナー	13.相続検定	14.公務員(国総・外専)	17.公務員(地上・技術・警消)	19.建設業経理士検定	
20.司法試験	21.弁理士	22.BATIC®	24.司法書士	25.マンション管理士/管理業務主任者	25.賃貸不動産経営管理士	
29.パソコン/CompTIA	31.ビジネス実務法務検定試験®	31.ビジネスマネジャー検定試験®	32.通関士/貿易実務検定®	33.公認内部監査人(CIA)	35.電気主任技術者	
35.電気工事士	36.知的財産管理技能検定®	37.ビジネス会計検定試験®	38.IPO実務検定	38.財務報告実務検定	41.ビジネスプロ養成	
66.建築士	67.年金検定	68.TOEIC®L&R TEST対策	69.教員採用試験	76.メンタルヘルス・マネジメント®検定		

STEP 4 変更内容	変更後の内容をご記入ください。記入内容の通りに登録されますので、楷書で丁寧に記入ください。												
変更後 現住所等	フリガナ	姓					名						
	氏名												
	現住所 (全角45文字以内。 都道府県、建物名 もご記入ください。)	郵便番号	〒 -				電話番号	- -					
		都道府県・市区町村											
		町名・丁目・番地											
		建物名・部屋番号											
教育訓練給付制度	教育訓練給付制度をご利用の方 住民票の変更 （ 有 ・ 無 ） （どちらかに○をしてください）												

◎現住所とは異なる送付先を希望する場合のみ下記枠内にご記入ください。

◎以前に送付先を登録され、引き続き、同じ送付先を希望する場合もお手数ですがご記入ください。

送付先指定	送付先指定期間	1. 20 年 月 日 まで変更 / 2. 受講期限終了まで変更 (どちらかに○をしてください)										
	教材送付先 住所 (全角45文字以内。 都道府県、建物名 もご記入ください。)	郵便番号	〒 -				電話番号	- -				
		都道府県・市区町村										
		町名・丁目・番地										
		建物名・部屋番号										

※STEP1～4に記入漏れがないか、もう一度ご確認ください。※メール配信解除はこちらへアクセスの上、ご自身でお手続きください。

備考欄				 http://web.tac-school.co.jp/mailmagazine/cancel.html							
受付記入欄				処理欄				SYS保管欄			
受付日	受付地区・チェック項目			変更項目NO.	受付者	処理日	処理者(自署)	保管日	保管者		
20 年 /	()校・部・カスタマー・営業・他()					20 年 /		20 年 /			
☐ 本人申請 ☐ 本人以外申請() 例:(親)※DMストップ時のみ ☐ 通信生 通信へFAX ☐ 給付金利用者 給付金Gへコピー											

※STEP2 変更項目Noの入力追加

TAC株式会社 2021年/3月 (保管:1Y)

資格の学校
TAC

中小企業診断士を目指す
ご友人・同僚を

入会金
¥10,000も
免除

新規入会者紹介制度

有効期限 ▶ 2023年 5月7日(日)

紹介者・申込者の双方に特典!

TAC中小企業診断士講座の「本科生」を受講中の方、もしくは、受講されていた方が、中小企業診断士講座への新規入会を希望される方をご紹介いただき、その方が中小企業診断士講座の対象コースをお申込みされた場合、紹介者様・入会者様それぞれに、「選べるe-GIFT」をプレゼントします。

好きな電子マネーギフトを選べます。

amazonギフト券

nanacoギフト

R
Edy

※各商品は「選べるギフト」からの交換となります。
※選べるGIFTの詳細は、選べるe-GIFTホームページをご覧ください。
【URL】 <https://www.anatc-gift.com/use/>

紹介者 TAC中小企業診断士講座の「本科生」を受講中、
もしくは、過去に「本科生」を受講されていた方

紹介して下さった方に



¥5,000分
プレゼント!

申込者 以前に「TAC中小企業診断士講座」を
受講されたことがない方で、かつ、対象コースの申込者

入会された方に



¥5,000分
プレゼント!

申込対象コース

- 2023年合格目標 1・2次ストレート本科生、1・2次速修本科生、1次本科生、1次速修本科生
- 2024年合格目標 1.5年本科生

申込方法

- ①紹介者・申込者の方は、あらかじめ下記の「新規入会者紹介用紙」に必要事項をご記入ください。
- ②申込者の方は、講座申込時にTAC受付窓口の場合：申込書と一緒に「新規入会者紹介用紙」をご提出ください。
郵送申込の場合：申込書、受講料振替控えと「新規入会者紹介用紙」を同封の上、ご郵送ください。

※本合格者特典はTAC株式会社による提供です。本合格者特典についてのお問合せはTAC中小企業診断士講座(sindans1@tac-school.co.jp)までお願いいたします。
※Amazon、Amazon.co.jpおよびそのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。※[nanacoギフト]は株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。
※[EdyギフトID]は楽天Edy株式会社との発行許諾契約により、株式会社NTTカードソリューションが発行する電子マネーギフトサービスです。
※[楽天Edy(ラクテンエディ)]は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

中小企業診断士 新規入会者紹介制度 申込書 兼【新規入会者様 入会金¥10,000免除】

【個人情報に関するお取扱い】

1. 業者の名称 TAC株式会社 個人情報保護管理者 個人情報保護管理室 室長 連絡先 cpo@tac-school.co.jp
2. お預かりした個人情報は、特典の送付および個人を特定しない統計データの作成のために利用いたします。
3. お預かりした個人情報は、お客様の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示、提示することはありません（ただし、法令等により開示を求められた場合を除く）。
4. お預かりした個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、削除、利用又は提供の停止等を請求することができます。下記の窓口までご相談ください。
5. TACへ個人情報の提示は任意です。ただし、必要な個人情報がご提示いただけない場合等は、円滑なサービスのご提供に支障をきたす可能性があります。あらかじめご了承ください。
個人情報に関する問合せ窓口 E-mail:privacy@tac-school.co.jp

紹介者 記入欄						
同意事項	☐ 同意する ※チェックがない場合、特典は送付されません。	上記【個人情報に関するお取扱い】の事項に同意の上、 ☐ をしてください。				
フリガナ		会員番号 (10桁)	会員証記載の会員番号をご記入ください			
氏 名						
メールアドレス	※ご記入いただいたメールアドレスに「選べるe-GIFT」取得用のURLを送付いたします。お間違えなく丁寧に記入ください。					
アンケート いずれかに○	Q.当制度を知ったきっかけ（利用申込書の入手方法）は？ 1. TAC校舎（チラシ・パンフレット） 2. TACスタッフからの案内 3. TACからのDM・メール 4. TACホームページ 5. 入会希望者からの依頼					

新規入会者 記入欄						
同意事項	☐ 同意する ※チェックがない場合、特典は送付されません。	上記【個人情報に関するお取扱い】の事項に同意の上、 ☐ をしてください。				
フリガナ		会員番号 (10桁)	会員番号をお持ちでない方は空欄			
氏 名						
メールアドレス	※ご記入いただいたメールアドレスに「選べるe-GIFT」取得用のURLを送付いたします。お間違えなく丁寧に記入ください。					
アンケート いずれかに○	Q.紹介者様とご関係は？ 1. 友人・知人 2. 職場関係 3. 家族（親子・兄弟・姉妹） 4. 他（ ）					

～TAC中小企業診断士講座 新規入会者紹介制度～

TAC中小企業診断士講座の「本科生」を受講中、もしくは過去に受講されての方が、中小企業診断士講座への新規入会を希望される方をご紹介いただき、その方が中小企業診断士講座の下記対象本科生をお申込みされた場合、紹介者様・入会者様それぞれに、「選べるe-GIFT」を進呈いたします（紹介者¥5,000分・入会者¥5,000分）。さらに、新規入会者様のTAC入会金（¥10,000）を免除します。

申込対象コース

■2023年合格目標 1・2次ストレート本科生、1・2次速修本科生、1次本科生、1次速修本科生
■2024年合格目標 1.5年本科生

【紹介者】

TAC中小企業診断士「本科生」受講中、もしくは過去受講者

【新規入会者】

TAC中小企業診断士を受講されたことがない方で、かつ、上記申込対象コースをお申込みされる方。

※本科生・バック生・単科生・オプション講座・公開模試等を受講されたことがある方は「申込者」の対象になりません。

【ご利用方法】

新規入会者・紹介者それぞれ、当「新規入会者紹介制度 申込書」に必要事項をご記入ください。新規入会者は、講座申込時にTAC受付窓口へ「新規入会者紹介制度 申込書」をご提出ください。郵送申込の場合は、講座申込書に「新規入会者紹介制度 申込書」を同封してください（インターネット申込み[e受付]には当制度は適用できません）。お申込み後、2週間程度で、ご記入いただいたメールアドレスに「選べるe-GIFT」取得用のURLを送付いたします。

【注意事項】

- お申し込み時に限ってご説明になれません。必ずお申し込み時に申込をお確認いただきます。
●他が紹介制度・紹介キャンペーン・紹介者としての所属はできません。なお、TACお取扱い書店・大学生協等の代理店割引制度や、早期申込割引（早期キャンペーン）等のキャンペーン受講料との併用はできません。
●TAC取扱書店・大学生協等でお申込みされる場合は、代理店でのお手続き後、TAC各校で会員登録手続きが必要になります。新規入会者紹介制度の申請は、その際にお願いたします（代理店での申請はできません）。
●「新規入会者紹介申込用紙」の記入に不備・不正があった場合、当制度はご利用いただけません。
●利用回数について、申込者は1回のみですが、紹介者は制限がありません。
●TAC提携校ではご利用いただけない場合がございます。詳細はご受講予定の提携校へ直接お問合せください。
●新規入会者様が講座開講前に解約された場合は、特典相当分をご返却いただけます。
●教育訓練給付制度をご利用の場合、支給対象額（お支払いの入会金・受講料）より5,000円が差し引かれます。詳細はTAC教育訓練給付制度パンフレットをご覧ください。
<例> お支払いの入会金・受講料が295,000円で、新規入会者紹介制度を
①利用する場合 ⇒ 295,000円 - 5,000円 = 290,000円（教育訓練給付制度支給対象額）
×20% = 58,000円（給付金支給額）
②利用しない場合 ⇒ 295,000円（教育訓練給付制度支給対象額）
×20% = 59,000円（給付金支給額）

受付記入欄	受付日	/	受付校舎	受付者	
受付確認欄	①「AS」および「講座申込書」備考欄に「紹介制度」と記録&入会金免除券を発行して申込書に添付 ②当「新規入会者紹介制度申込書」は診断士講座企画部へ回送				

※点線から切り離してお申込みください

ご存知ですか? TAC会員なら受講料が5%OFF!

NEXT割引

5%
OFF

こんな人に
オススメ

- 学習した知識を活かしダブルライセンスを狙いたい
- 上位資格をめざし更なるステップアップをしたい
- 時間の確保ができる今新たな資格に挑戦したい

TACでは、他の資格に意欲的に挑戦する受講生の方々を応援します。
当割引制度は、次の資格講座を受講する際に通常受講料の5%OFFでお申込みできる制度です。多くのTAC会員が活用している当制度をぜひご利用ください。

お申込みは受付窓口または



対象者・
対象コース

- 「0」または「9」で始まる10桁の会員番号をお持ちのTAC会員の方で、且つ2014年4月1日以降のTACのお申込履歴がある方が対象となります。
- NEXT割引は各資格講座の各受講メディアの「本科生」「パック生」「コース生」を対象とさせていただきます。NEXT割引の対象になるかどうか不明の場合は各校受付窓口にご問い合わせください。

利用方法

- 各校受付窓口でお申込みされる際は、会員証をご持参ください。
- e受付でお申込みされる際は、登録手続きが必要となります。また、割引適用には条件があります。詳細はe受付サイトの「割引について」をご確認ください。
- 郵送でお申込みされる際は、必ず会員証のコピーを封書に同封してください。

注意事項

※同一講座内の再受講や継続受講で当割引制度を利用することはできません。またTACで実施する他の割引制度との併用はできません。なお、「早期申込割引」などの、どなたでもご利用いただける期間限定の「キャンペーン受講料」との併用は可能です。

※NEXT割引の対象者および割引率は、予告なく変更となる場合がございます。

※すでにお申込みされた講座・コースについて、遡っての返金等の対応はいたしかねます。

資格の学校 **TAC**

2021年10月現在

❖ お問い合わせ先一覧 ❖

「TAC利用ガイド」「講座別受講ガイド」「TAC WEB SCHOOL」等をご覧の上でご不明な点がございましたら、お手数ですがお問い合わせをお願いいたします。

なお、よくあるお問い合わせをまとめたサイトもご用意していますので、ご参照ください。

お問い合わせ窓口一覧・よくあるご質問

<https://www.tac-school.co.jp/toiawase>

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	営業時間 ※
教材内容、学習内容の質問に関して	通学メディア・通信メディア共通編「 5 質問・相談について」をご参照ください。	
TAC WEB SCHOOL のマイページ登録に関して	0120-551-980 ws@tac-school.co.jp	月～金 10:00～19:00 土・日・祝 10:00～17:00
TAC WEB SCHOOL のWeb・音声ダウンロード操作に関して	0120-065-355 ws@tac-school.co.jp	
通信講座の教材発送に関して	0120-509-194 tushin@tac-school.co.jp	
通信添削答案・質問カード返却、教育訓練給付制度添削課題に関して	03-5276-8534	日・祝を除く 10:00～17:00
受講申込に関して	各校受付 TAC MAPを参照してください。 ※インターネット申込はこちら https://ec.tac-school.co.jp/	9:00～19:00 ※日曜日は18:00まで ※地区により営業時間が若干異なる場合がございます。詳細は直接お問い合わせください。
各講座パンフレットの請求に関して	TACカスタマーセンター 0120-509-117	月～金 9:30～19:00 土・日・祝 9:30～18:00
TAC出版書籍のご購入に関して	TAC出版 「CYBER BOOK STORE」 https://bookstore.tac-school.co.jp/	—

※電話による学習内容の質問は受け付けておりません。

※営業時間は変更となる場合もございますのであらかじめご了承ください。

TAC MAP

●TAC直営校

札幌校 〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目7番地 ☎011(242)4477(代)	仙台校 〒980-6125 仙台市青葉区中央1丁目3番1号 ☎022(266)7222(代)	水道橋校 〒101-0061 千代田区神田三崎町2-10-8 ☎03(5276)0271(代)	新宿校 〒160-0023 新宿区新宿1-21-1 ☎03(5322)1040(代)	早稲田校 〒169-0071 新宿区戸塚町1-101-16 ☎03(5287)4940(代)	池袋校 〒171-0022 豊島区池袋1-19-6 ☎03(5992)2850(代)
渋谷校 〒150-0031 渋谷区桜丘町31-15 ☎03(3462)0901(代)	八重洲校 〒104-0012 東京都中央区京橋1-12-2 ☎03(6228)8501(代)	立川校 〒190-0012 立川市堀町1-14-10 ☎042(528)8898(代)	中大駅前校 〒192-0051 八王子市東中野216-1 ☎042(678)7210(代)	町田校 〒194-0022 町田市森野1-14-17 ☎042(721)2202(代)	横浜校 〒220-0011 横浜市西区南幸2-19-12 ☎045(451)6420(代)
日吉校 〒223-0062 横浜市港北区日吉本町1-5-21 ☎045(560)6166(代)	大宮校 〒330-0854 いちい市市宮区桜木町1-10-17 ☎048(644)0676(代)	津田沼校 〒275-0016 習志野市津田沼1-23-1 ☎047(470)1831(代)	名古屋校 〒453-0014 名古屋市中村区西沢1-1-7 ☎052(559)5555(代)	京都校 〒600-3421 京都市下区堀江通西入道町159-1 ☎075(351)1122(代)	梅田校 〒530-0015 大阪市北区梅田2-4-12 ☎06(371)5781(代)
なんば校 〒542-0076 大阪市中央区難波1-4 ☎06(6211)1122(代)	神戸校 〒651-0087 神戸市中央区御幸通4-11-10 ☎078(241)4895(代)	広島校 〒730-0011 広島市中区基町1-10 ☎082(224)3355(代)	福岡校 〒810-0001 福岡市中央区天神1-15-6 ☎092(724)6161(代)		

●TAC提携校

水戸校 株式会社アイエスエス 〒310-0015 水戸市東区1-3-41 ☎029(350)7750(代)	群馬校 中央総合学院内 〒371-0805 前橋市南町1-14-1 ☎027(226)1823(代)	富山校 富山情報ビジネス専門学校USP内 〒930-0341 富山市三ツ木576 ☎0766(55)5513(代)	金沢校 エルアンドエルシステム北陸 〒921-0044 金沢市米町7-28-1 ☎076(245)7605(代)	岡山校 株式会社カレッジサービス 〒700-0023 岡山市北区駅前町1-8-18 ☎086(236)0225(代)	福山校 穴吹カレッジキャリアアップスクール 〒720-0066 福山市三之丸町30-1 ☎084(991)0250(代)
高校校 穴吹カレッジキャリアアップスクール 〒760-0024 高松市丸根町5-2 ☎087(822)3313(代)	徳島校 穴吹カレッジキャリアアップスクール 〒770-0832 徳島市青島町東3-12-7 ☎088(653)3588(代)	大分校 学校法人市内学院内 〒870-0839 大分市金池町1-8-5 ☎097(546)5224(代)	熊本校 税理士法人東京会計グループ 〒860-0844 熊本市東区大瀬町9-29 ☎096(323)3622(代)	宮崎校 宮崎ビジネス公務員専門学校内 〒890-0812 宮崎市高千穂町2-2-27 ☎0985(22)6881(代)	鹿児島校 鹿児島情報ビジネス公務員専門学校内 〒892-0842 鹿児島市東千石町13-32 ☎099(239)9523(代)

沖縄校

●形勢校舎
 〒902-0057 那覇市安里44-4
 ☎098(864)2670(代)

●中部校舎 099(311)661
 〒904-0022 沖縄県沖縄市南照3-7-33

最新の情報は
HPにてご確認ください。

TAC 校舎

検索



校舎ごとに営業時間等が異なります。詳しくは各校舎までお問い合わせください。

